

島根大学  
保健管理センター一年報

[平成 24 年度～25 年度]

島根大学保健管理センター

## 目 次

### 松江キャンパス

I : 事業・業務	1
II : 保健管理業務	3
1. 健康診断・事後措置	3
①学生定期健康診断	
②特別健康診断	
③臨時健康診断	
2. 保健管理センター利用状況	10
①学生・職員などの健康相談等	
②栄養相談	
③母性保健相談	
3. 精神衛生相談・カウンセリング状況	14
4. その他の活動	16
①「気になる学生」調査について	
②新入生面接とメンタルヘルス不調者に対するフォローアップ	
③学内外機関との連携	
④グループ活動	
⑤学生メイト	
⑥緊急支援	
III : 教職員の健康管理	25
IV : 広報・啓発活動	26
1. 学内研修会の開催	26
2. 教員・学生対象の研修会	29
3. 保健管理センター松江のホームページ	29
4. カルト対策	30

### 出雲キャンパス

I : 事業・業務	31
II : 保健管理業務	33
1. 健康診断および事後措置	33
①医学部学生定期健康診断	
②大学院生定期健康診断	
2. 医学部学生の感染症対策	40
①感染症抗体検査	
②B型肝炎ワクチン接種	

③インフルエンザワクチン接種	
3. 外国人研究留学生、外国人研究者健康診断	45
4. 保健管理センター利用状況	46
①年度別・区分別利用延件数	
②年度別・月別利用件数	
③健康診断書の発行件数（再掲）	
④医療機関（専門医）紹介件数（再掲）	
5. メンタルヘルス対策	50
①こころの健康相談・カウンセリング・コンサルテーション	
②新入生心理検査	
Ⅲ：教職員の健康管理	51
1. 教職員のセンター利用件数（再掲）	51
2. 産業医業務	51
Ⅳ：広報・啓発活動	51
1. 保健管理センターのしおり発行	51
2. 島根大学保健管理センター出雲のホームページ	51
3. 健康教育：テーピング講習会	51

## 学術研究・組織

I：学術研究活動	52
1. 研究会主催	52
2. 学会・研究会参加	52
3. 学会・研究会発表	53
4. 著書	55
5. 学術論文	55
6. 報告書	56
7. 研究助成	56
Ⅱ：教育活動	57
Ⅲ：社会貢献・講演	58
Ⅳ：保健管理体制	60
1. 組織	60
2. 構成	60
3. 保健管理センター運営委員会	61
4. 島根大学教育・学生支援機構保健管理センター規則	62
V：沿革	67

松江キャンパス

# I 事業・業務

○平成 24 年度

月	事業・業務
4 月	入学時定期健康診断（新入生） 入学式救護 【4～5 月】定期健康診断（在学生・留学生） 【4～6 月】定期健康診断事後指導・措置（新入生・在学生・留学生）
5 月	平成 24 年度第 1 回保健管理センター管理運営委員会 特別健康診断（RI 取扱者 学生・職員）
6 月	中国五大学競技大会事前健康診断
7 月	
8 月	第 42 回中国四国保健管理研究集会参加（香川県高松市） 第 26 回島根学生相談研究会参加 中国五大学競技大会事前健康診断
9 月	
10 月	第 50 回全国大学保健管理研究集会参加（兵庫県神戸市） 中国五大学競技大会事前健康診断 「保健管理センター」パンフレット発行
11 月	中国五大学競技大会事前健康診断 特別健康診断（RI 取扱者 学生・職員） 推薦入学試験救護
12 月	学生相談研修会
1 月	大学入試センター試験救護 水泳部寒中水泳大会救護
2 月	平成 24 年度第 2 回保健管理センター管理運営委員会 個別学力試験（前期日程）救護
3 月	全国大学保健管理協会中国四国地方部会幹事会 個別学力試験（後期日程）救護 卒業式救護 第 27 回島根学生相談研究会参加
内科健康相談 4～7 月：2 回／月，10～2 月：1 回／月 栄養・食生活相談 2 回／月	
保健管理センターミーティング（松江・出雲） 5/29, 7/2, 8/8, 10/29, 11/27, 12/12, 2/6, 3/11	

○平成 25 年度

月	事業・業務
4月	入学時定期健康診断（新入生） 入学式救護 【4～5月】定期健康診断（在学生・留学生） 【4～6月】定期健康診断事後指導・措置（新入生・在学生・留学生）
5月	平成 25 年度第 1 回保健管理センター管理運営委員会 特別健康診断（RI 取扱者 学生・職員）
6月	中国五大学競技大会事前健康診断
7月	
8月	第 43 回中国四国保健管理研究集会参加（山口県山口市） 第 28 回島根学生相談研究会参加 中国五大学競技大会事前健康診断
9月	
10月	中国五大学競技大会事前健康診断 「保健管理センター」パンフレット発行
11月	第 51 回全国大学保健管理研究集会参加（岐阜県岐阜市） 中国五大学競技大会事前健康診断 特別健康診断（RI 取扱者 学生・職員） 推薦入学試験救護
12月	学生相談研修会
1月	大学入試センター試験救護 水泳部寒中水泳大会救護
2月	平成 25 年度第 2 回保健管理センター管理運営委員会 個別学力試験（前期日程）救護
3月	全国大学保健管理協会中国四国地方部会幹事会（メール会議） 個別学力試験（後期日程）救護 第 29 回島根学生相談研究会参加 卒業式救護
内科健康相談 4～7月：2回／月，10～2月：1回／月	
保健管理センターミーティング（松江・出雲） 5/29, 7/2, 8/5, 10/1, 11/19, 12/20, 2/4, 3/11	

## Ⅱ 保健管理業務

### 1. 学生定期健康診断・事後措置

#### ①学生定期健康診断

健康診断項目

平成 24 年度，平成 25 年度

項目	学 部		大 学 院		留学生
	1 年	2 年以上	1 年	2 年以上	
計 測	○	○	○	○	○
血 圧	○	○	○	○	○
内 科	該当者のみ	○	○	○	○
胸部 X 線	○	○	○	○	○
尿 検 査	○	該当者のみ	該当者のみ	該当者のみ	該当者のみ
問 診	○	—	○	—	—

実施時期は 4～5 月で，1 年生は入学式前後で各学部 0.5 日計 2 日間で実施している。2 年生以上，大学院生，留学生は午後 0.5 日で 12 回行っている。

1 年生は問診結果や既往歴，本人の希望等により，内科診察を実施する。

2 年生以上・大学院生・留学生の尿検査・心電図検査は経過観察該当者，医師の指示，希望者に対して実施する。

## 定期健康診断受診率

○平成 24 年度

学 部

		1 年生		2 年生		3 年生		4 年生		5 年生以上	
		男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子
法文	対象者数	104	128	108	118	110	134	103	133	41	28
	受診者数	104	127	55	64	52	93	74	94	7	9
	受診率(%)	100.0	99.2	50.9	54.2	47.3	69.4	71.8	70.7	17.1	32.1
教育	対象者数	72	103	64	109	65	110	60	102	17	4
	受診者数	71	103	64	107	63	108	54	95	4	3
	受診率(%)	98.6	100.0	100.0	98.2	96.9	98.2	90.0	93.1	23.5	75.0
総合理工	対象者数	351	61	352	55	347	67	322	77	169	11
	受診者数	344	60	159	37	110	37	213	75	59	5
	受診率(%)	98.0	98.4	45.2	67.3	31.7	55.2	66.1	97.4	34.9	45.5
生物資源	対象者数	136	84	134	75	133	93	112	101	54	12
	受診者数	134	84	55	21	66	63	72	86	9	3
	受診率(%)	98.5	100.0	41.0	28.0	49.6	67.7	64.3	85.1	16.7	25.0
計	対象者数	663	376	658	357	655	404	597	413	281	55
	受診者数	653	374	333	229	291	301	413	350	79	20
	受診率(%)	98.5	99.5	50.6	64.1	44.4	74.5	69.2	84.7	28.1	36.4

大学院

		1 年生		2 年生		3 年生		4 年生以上	
		男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子
人文社会科学	対象者数	4	4	9	3	2	1		
	受診者数	2	4	5	3	1	1		
	受診率(%)	50.0	100.0	0.0	100.0	1.0	100.0		
法務研究科	対象者数	7	3	9	3	7	2	2	2
	受診者数	3	0	0	0	0	0	2	2
	受診率(%)	42.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	100.0
教育学	対象者数	14	16	9	9	1	1		
	受診者数	13	16	6	6	0	1		
	受診率(%)	92.9	100.0	66.7	66.7	0.0	100.0		
総合理工学前期	対象者数	95	11	117	20	8	2		
	受診者数	86	10	95	18	4	2		
	受診率(%)	90.5	90.9	81.2	90.0	50.0	100.0		
総合理工学後期	対象者数	3	0	6	1	2	1	2	1
	受診者数	3	-	2	1	0	1	0	0
	受診率(%)	100.0	0.0	33.3	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
生物資源科学	対象者数	35	9	25	19	1	0		
	受診者数	29	10	15	15	1	0		
	受診率(%)	82.9	111.1	60.0	78.9	100.0	0.0		
計	対象者数	158	43	175	55	19	5	4	3
	受診者数	136	40	123	43	6	4	2	2
	受診率(%)	86.1	93.0	70.3	78.2	31.6	80.0	50.0	66.7

連合大学院農学研究科：男子 2 名，科目等履修生等：男子 1 名，女子 1 名

対象者数には休学者を含む

外国人留学生（学部）

		1年生		2年生		3年生		4年生		5年生以上	
		男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子
法文	対象者数	2	1	3	3	2	1	-	1	-	-
	受診者数	2	1	2	0	1	0	-	0	-	-
	受診率(%)	100.0	100.0	66.7	0.0	50.0	0.0	-	0.0	-	-
教育	対象者数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	受診者数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	受診率(%)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
総合理工	対象者数	4	-	5	2	3	1	5	3	1	-
	受診者数	3	-	2	1	3	0	5	2	0	-
	受診率(%)	75.0	-	40.0	50.0	100.0	0.0	100.0	66.7	0.0	-
生物資源	対象者数	3	1	3	2	2	3	-	1	-	-
	受診者数	3	1	2	0	2	0	-	1	-	-
	受診率(%)	100.0	100.0	66.7	0.0	100.0	0.0	-	100.0	-	-
計	対象者数	9	2	11	7	7	5	5	5	1	0
	受診者数	8	2	6	1	6	0	5	3	0	0
	受診率(%)	88.9	100.0	54.5	14.3	85.7	0.0	100.0	60.0	0.0	0.0

外国人留学生（大学院）

		1年生		2年生		3年生		4年生以上	
		男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子
人文社会科学	対象者数	2	4	1	-	-	-		
	受診者数	2	3		-	-	-		
	受診率(%)	100.0	75.0	0.0	-	-	-		
法務	対象者数	-	-	-	-	-	-	-	-
	受診者数	-	-	-	-	-	-	-	-
	受診率(%)	-	-	-	-	-	-	-	-
教育学	対象者数	-	4	-	-	-	-		
	受診者数	-	4	-	-	-	-		
	受診率(%)	-	100.0	-	-	-	-		
総合理工学前期	対象者数	6	-	2	-	3	2		
	受診者数	4		2	-	2	2		
	受診率(%)	66.7	-	100.0	-	66.7	100.0		
総合理工学後期	対象者数	4	-	3	2	3	3	-	-
	受診者数	1	-	2	0	1	0	-	-
	受診率(%)	25.0	-	66.7	0.0	33.3	0.0	-	-
生物資源科学	対象者数	2	3	2	1	1	-		
	受診者数	1	1	1	0	0	-		
	受診率(%)	50.0	33.3	50.0	0.0	0.0	-		
計	対象者数	14	11	8	3	7	5	0	0
	受診者数	8	8	5	0	3	2	0	0
	受診率(%)	57.1	72.7	62.5	0.0	42.9	40.0	0.0	0.0

連合大学院農学研究科：男子3名，女子2名 科目等履修生等：女子4名  
対象者数には休学者を含む

## ○平成 25 年度

## 学 部

		1 年生		2 年生		3 年生		4 年生		5 年生以上	
		男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子
法文	対象者数	109	130	103	128	111	125	110	139	32	19
	受診者数	109	130	47	80	58	77	61	110	10	6
	受診率(%)	100.0	100.0	45.6	62.5	52.3	61.6	55.5	79.1	31.3	31.6
教育	対象者数	85	94	72	103	64	106	65	110	7	5
	受診者数	85	93	72	103	62	100	50	99	2	2
	受診率(%)	100.0	98.9	100.0	100.0	96.9	94.3	76.9	90.0	28.6	40.0
総合理工	対象者数	347	68	350	60	346	57	340	68	135	16
	受診者数	341	68	189	38	184	44	190	52	47	6
	受診率(%)	98.3	100.0	54.0	63.3	53.2	77.2	55.9	76.5	34.8	37.5
生物資源	対象者数	133	89	135	84	146	80	132	94	42	11
	受診者数	132	89	66	53	72	42	90	79	10	5
	受診率(%)	99.2	100.0	48.9	63.1	49.3	52.5	68.2	84.0	23.8	45.5
計	対象者数	674	381	660	375	667	368	647	411	216	51
	受診者数	667	380	374	274	376	263	391	340	69	19
	受診率(%)	99.0	99.7	56.7	73.1	56.4	71.5	60.4	82.7	31.9	37.3

## 大学院

		1 年生		2 年生		3 年生		4 年生以上	
		男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子
人文社会科学	対象者数	4	1	5	4	-	-		
	受診者数	3	0	2	3	-	-		
	受診率(%)	75.0	0.0	0.0	75.0	-	-		
法務研究科	対象者数	2	-	2	-	5	4	11	2
	受診者数	2	-	1	-			1	1
	受診率(%)	100.0	-	50.0	-	0.0	0.0	9.1	50.0
教育学	対象者数	15	16	11	12	-	-		
	受診者数	11	16	5	11	-	-		
	受診率(%)	73.3	100.0	45.5	91.7	-	-		
総合理工学前期	対象者数	117	16	94	11	2	1		
	受診者数	101	15	73	10	1	0		
	受診率(%)	86.3	93.8	77.7	90.9	50.0	0.0		
総合理工学後期	対象者数	8	2	3	-	5	1	3	-
	受診者数	4	1	2	-	3	1	0	-
	受診率(%)	50.0	50.0	66.7	-	60.0	100.0	0.0	-
生物資源科学	対象者数	32	12	33	8	1	3		
	受診者数	27	11	27	6	0	2		
	受診率(%)	84.4	91.7	81.8	75.0	0.0	66.7		
計	対象者数	178	47	148	35	13	9	14	2
	受診者数	148	43	110	30	4	3	1	1
	受診率(%)	83.1	91.5	74.3	85.7	30.8	33.3	7.1	50.0

連合大学院農学研究科：男子 3 名，科目等履修生等：男子 3 名

対象者数には休学者を含む

外国人留学生（学部）

		1年生		2年生		3年生		4年生		5年生以上	
		男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子
法文	対象者数	1	1	2	1	2	3	2	-	-	1
	受診者数	0	1	0	1	0	0	0	-	-	0
	受診率(%)	0.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	-	-	0.0
教育	対象者数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	受診者数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	受診率(%)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
総合理工	対象者数	4	2	3	-	5	2	3	1	1	-
	受診者数	4	2	2	-	1	1	1	0	1	-
	受診率(%)	100.0	100.0	66.7	-	20.0	50.0	33.3	0.0	100.0	-
生物資源	対象者数	2	-	3	1	3	2	2	3	-	-
	受診者数	2	-	1	0	1	1	1	1	-	-
	受診率(%)	100.0	-	33.3	0.0	33.3	50.0	50.0	33.3	-	-
計	対象者数	7	3	8	2	10	7	7	4	1	1
	受診者数	6	3	3	1	2	2	2	1	1	0
	受診率(%)	85.7	100.0	37.5	50.0	20.0	28.6	28.6	25.0	100.0	0.0

外国人留学生（大学院）

		1年生		2年生		3年生		4年生以上	
		男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子
人文社会科学	対象者数	1	1	2	4	-	-		
	受診者数	0	1	2	2	-	-		
	受診率(%)	0.0	100.0	100.0	50.0	-	-		
法務	対象者数	-	-	-	-	-	-	-	-
	受診者数	-	-	-	-	-	-	-	-
	受診率(%)	-	-	-	-	-	-	-	-
教育学	対象者数	-	1	-	4	-	-		
	受診者数	-	1	-	4	-	-		
	受診率(%)	-	100.0	-	100.0	-	-		
総合理工学前期	対象者数	4	2	7	-	3	-		
	受診者数	2	2	3	-	3	-		
	受診率(%)	50.0	100.0	42.9	-	100.0	-		
総合理工学後期	対象者数	-	-	3	1	5	1	1	1
	受診者数	-	-	0	1	2	1	0	1
	受診率(%)	-	-	0.0	100.0	40.0	100.0	0.0	100.0
生物資源科学	対象者数	2	1	3	3	1	-		
	受診者数	1	1	3	1	0	-		
	受診率(%)	50.0	100.0	100.0	33.3	0.0	-		
計	対象者数	7	5	15	12	9	1	1	1
	受診者数	3	5	8	8	5	1	0	1
	受診率(%)	42.9	100.0	53.3	66.7	55.6	100.0	0.0	100.0

連合大学院農学研究科：男子5名 女子2名，科目等履修生等：男子2名 女子4名  
対象者数には休学者を含む

平成25年10月入学 留学生健康診断（大学院，研究生，特別聴講生，科目等履修生）

	男子	女子
対象者数	16	17
受診者数	14	17
受診率(%)	87.5	100.0

## 事後措置

### ○血圧

自動血圧計で自己測定した結果、高値（収縮期血圧 140 mmHg and/or 拡張期血圧 90 mmHg）を示した学生に対し、同一日に手動測定をする。手動測定でも高値だった学生は、後日二次検診を行っている。

#### 二次検診受診状況

	平成 24 年度		平成 25 年度	
	男子	女子	男子	女子
対 象 者	58	11	86	10
受 検 者	38	9	54	9
血圧高値者 (%対受検者)	6 (15.8)	2 (22.2)	20 (37.0)	3 (33.3)

### ○結核検診（胸部 X 線撮影）

学校保健安全法に基づき、定期健康診断受診者に胸部 X 線撮影を実施している。異常所見があれば専門医療機関を紹介し、精密検査結果を確認している。

		平成 24 年度	平成 25 年度
受 検 者		3,461	3,570
要精密検査者		8	5
精密検査受検者		8	5
精密検査結果	異常なし	7	5
	要観察	1	0
	要治療	0	0

## ②特別健康診断(放射性同位元素 RI 等取扱者)

島根大学職員安全衛生管理規程第 23 条及び、島根大学総合科学研究支援センター遺伝子機能解析分野 RI 実験施設放射線障害予防規則第 18 条の規定により、放射線業務従事者の健診を年 2 回実施している。

1. 対象者:放射線・RI 取扱学生、教職員
2. 検査項目: ①全身の自覚症状に関する問診  
           ②皮膚・眼球・爪の性状などの視診  
           ③一般血液検査(松江赤十字病院)

		平成 24 年度		平成 25 年度		
		5 月	11 月	5 月	11 月	3 月
新規登録者	学生	21	30	18	28	0
	職員	2	0	2	0	1
既登録者	学生	59	0	65	0	0
	職員	30	32	33	33	0
計		112	62	118	61	1
要精密検査者		0	1	0	1	0

## ③臨時健康診断(体育系の部活・サークル健康診断)

大学を代表して対外試合に出場するスポーツ選手や、強化合宿、体育実技、各クラブ活動の合宿などに対応して臨時健康診断を実施している。

- 内科診察(聴打診)
- 血圧測定
- 身長・体重測定
- 検尿

臨時健康診断人数

	平成 24 年度	平成 25 年度
中国五大学学生競技夏季大会	207	238
中国五大学学生競技冬季大会	123	123
その他の大会・合宿	48	50
計	378	411

## 2. 保健管理センター利用状況

### ① 学生・職員などの健康相談等

○平成 24 年度（松江キャンパス）

延べ件数

		学生	留学生	職員	その他	合計
測定・検査	身体測定	480	2			482
	視力測定	110	1			111
	血圧測定	516	1	7		524
	体温測定	321	13	25	2	361
	尿検査	390	1			391
	その他	93	1	1		95
健康相談	内科系(医師による)	127	8	95	4	234
	外科系(医師による)	17	3	4	2	26
	母性相談	197	2	5	2	206
	栄養相談	113	2			115
	保健・生活指導他	527	26	43	3	599
	その他	149	26	18	9	202
精神保健・カウンセリング【再掲】		2,049	25	465	197	2,736
処置	投薬	530	31	174	2	737
	外科系	133	4	26	3	166
	休養室利用	105		12	1	118
	リラックス室・事務室休憩	114		27	1	142
	マッサージ機使用	18		7		25
	健診事後措置	448	2			450
	その他	13			2	15
専門医紹介	内科系	344	7	9	1	361
	外科系	150	6	12	1	169
	精神科	10				10
	婦人科	36	1			37
	その他	275	14	5		294
健康診断証明書発行		52	4			56
合計		7,317	180	935	230	8,662

学生 は学部・大学院・研究生等で、その他は卒業生・家族等である。

定期健康診断受検者数は含んでいない。

「精神保健・カウンセリング」は医師診察、カウンセリングなどの合算である。

## ○平成 25 年度（松江キャンパス）

延べ件数

		学生	留学生	職員	その他	合計
測定・検査	身体測定	468	2	0	0	470
	視力測定	88	4	0	0	92
	血圧測定	224	2	14	2	242
	体温測定	420	13	31	3	467
	尿検査	408	1	1	0	410
	その他	129	0	9	1	139
健康相談	内科系(医師による)	96	6	105	6	213
	外科系(医師による)	5	4	1	0	10
	母性相談	224	2	7	2	235
	栄養相談	27	3	1	0	31
	保健・生活指導他	561	42	85	10	698
	その他	643	25	14	6	688
精神保健・カウンセリング【再掲】		2,039	31	634	167	2,871
処置	投薬	547	51	214	5	817
	外科系	96	7	16	1	120
	休養室利用	128	1	11	2	142
	リラックス室・事務室休憩	133	0	30	0	163
	マッサージ機使用	28	6	14	0	48
	健診事後措置	409	6	3	0	418
	その他				1	1
専門医紹介	内科系	260	17	15	2	294
	外科系	162	14	11	0	187
	精神科	9	0	0	0	9
	婦人科	38	1	0	0	39
	その他	210	19	13	3	245
健康診断証明書発行		26	3	0	0	29
合計		5,339	229	595	44	9,078

学生 は学部・大学院・研究生等で、その他は卒業生・家族等である。

定期健康診断受検者数は含んでいない。

「精神保健・カウンセリング」は医師診察、カウンセリングなどの合算である。

## ②母性保健相談

### ○女性の健康相談

学生・職員の月経不順、月経随伴症状、月経前不定愁訴など月経に関する悩み等に、婦人科医師や保健師が随時応じている。

#### 女性の健康相談内訳（延数）

	平成 24 年度	平成 25 年度
月経痛	42	64
月経不順	22	27
無月経	34	24
不性出血	34	19
過多月経	4	7
月経に関する不定愁訴	8	13
月経移動の相談	4	3
妊娠に関する相談	12	24
性感染症に関する相談	5	2
その他 <sup>1)</sup>	40	26
計	205	210

<sup>1)</sup> 下腹部痛、帯下や外陰部の異常、胸のしこり、子宮頸がん検診・頸がんワクチンに関する  
こと、貧血、やせに関する相談など

#### 相談に対する対応（延数）

	平成 24 年度	平成 25 年度
医師診察	94	94
往診	3	2
鎮痛剤の投与	26	32
保健管理センターでの休養	12	19
セルフケア・日常生活等保健指導	15	20
月経周期・基礎体温測定指導	16	35
その他の保健指導 <sup>2)</sup>	22	15
医療機関紹介	46	48

<sup>2)</sup> 性感染症予防、避妊、子宮頸がん検診や頸がんワクチンの受け方など

○学生定期健康診断を利用した母性保健相談

新入生と学部2年生以上の対応に分けて実施している。詳しく経過を知る必要がある学生は、要経過観察者として婦人科医師診察と保健師による指導を行った。

・新入生

相談対象者は入学前の健康調査票を基に月経不順、月経随伴症状、月経前不定愁訴の有无所見者とした。

	健診受診者数	相談対象者数	相談来所者数	要経過観察者数
平成24年度	376	25	15	7
平成25年度	383	21	17	8

\*健診受診者数：含む留学生

・学部2年生以上

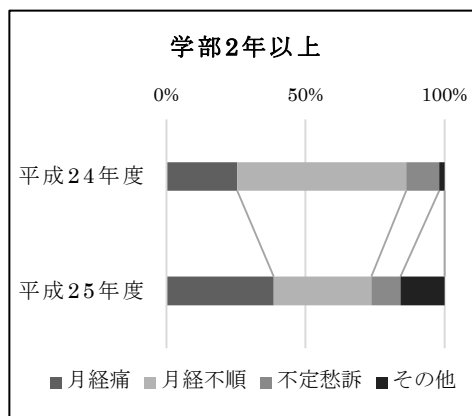
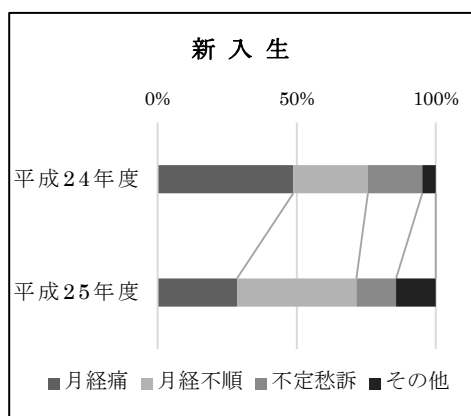
過去の指導歴や月経状況を自己申告、またはBMI低値の学生を相談対象とした。

	健診受診者数	相談対象者数	相談来所者数	要経過観察者数
平成24年度	1,003	42	19	9
平成25年度	992	41	21	6

\*健診受診者数：含む大学院生、留学生

相談対象者の主訴（延数）

	新入生		学部2年生以上	
	平成24年度	平成25年度	平成24年度	平成25年度
月経痛	20	10	13	22
月経不順	11	15	31	20
不定愁訴	8	5	6	6
その他	2	5	1	9



### 3. 精神保健相談・カウンセリング状況

#### 精神保健相談・カウンセリング 月別延件数

○平成24年度

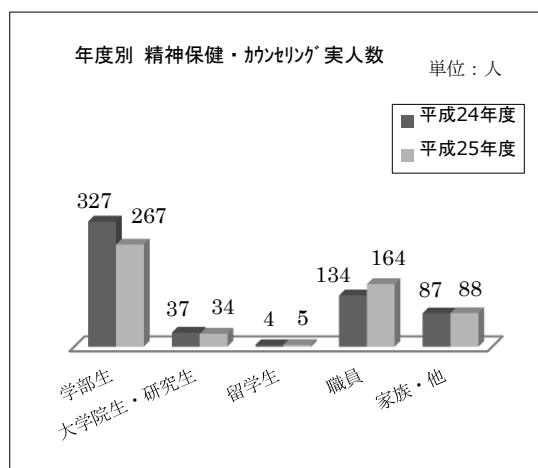
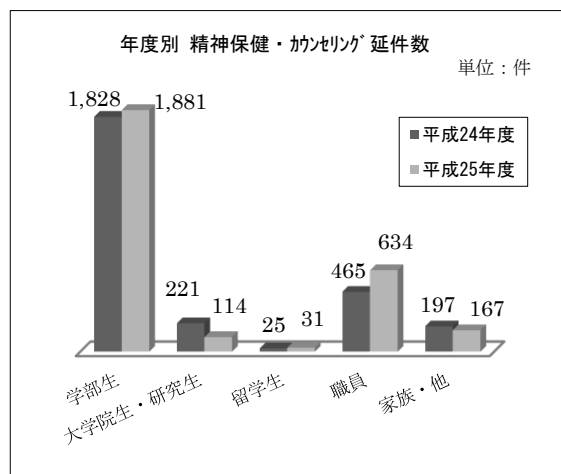
平成24年4月～平成25年3月

所属等	性別	月度別												計
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
学部生	男子	107	108	91	83	51	61	79	75	64	50	51	36	856
	女子	108	121	110	96	48	49	89	91	79	80	62	39	972
大学院・ 研究生等	男子	18	16	15	23	9	16	20	14	15	17	13	5	181
	女子	2	1	8	4	1	4	2	4	4	3	5	2	40
留学生	男子	3	2		3	2		2	2	2	2	1	2	21
	女子	0	2	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	4
職員	男子	36	27	30	27	17	31	37	31	26	18	24	48	352
	女子	14	11	10	8	6	6	6	9	12	6	7	18	113
家族・ その他	男子	4	5	4	8	2	4	7	6	5	2	4	4	55
	女子	14	11	18	21	9	12	12	11	14	4	8	8	142
計	男子	168	158	140	144	81	112	145	128	112	89	93	95	1,465
	女子	138	146	147	129	64	71	109	116	109	93	82	67	1,271

○平成25年度

平成25年4月～平成26年3月

所属等	性別	月度別												計
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
学部生	男子	70	90	74	94	42	23	104	65	49	69	45	55	780
	女子	87	133	107	110	68	62	126	100	81	79	91	57	1,101
大学院・ 研究生等	男子	10	8	15	10	5	5	10	8	14	12	11	6	98
	女子	4	1	7	6		7	2	6	2			9	44
留学生	男子	1	4	1	7	3	3	2	1	1	4	2	2	31
	女子													0
職員	男子	44	34	29	59	24	34	58	44	46	35	45	53	505
	女子	14	12	7	10	2	5	16	14	16	9	12	12	129
家族・ その他	男子	5	1	5	5	1	1	2	6	5	4	3	11	26
	女子	9	17	10	20	10	17	7	6	6		7	9	110
計	男子	130	137	124	175	75	66	176	124	115	124	106	127	1,479
	女子	114	163	131	146	80	91	151	126	105	88	110	87	1,392



## 精神保健相談・カウンセリング 相談内容別延件数

○平成 24 年度

平成 24 年 4 月～平成 25 年 3 月

相談内容 所属等	性別	修学・ 進路	対人 関係	心身 健康面	学生 生活	その他	修学進 路,心 身健康	修学進 路,生 活	修学進 路,心 身健康	対人・ 心身健 康	心身健 康,そ の他	計
学部生	男子	220	18	460	65	88	1	1	2	1		856
	女子	62	9	769	31	96	1			2	2	972
大学院生・ 研究生	男子	16	4	149		11					1	181
	女子	2		34		4						40
留学生	男子			20		1						21
	女子			4								4
職員	男子	72	4	123		152			1			352
	女子	14		61	2	36						113
家族・ その他	男子	22		3		30						55
	女子	69		3	1	68		1				142
計	男子	330	26	755	65	282	1	1	3	1	1	1,465
	女子	147	9	871	34	204	1	1	0	2	2	1,271

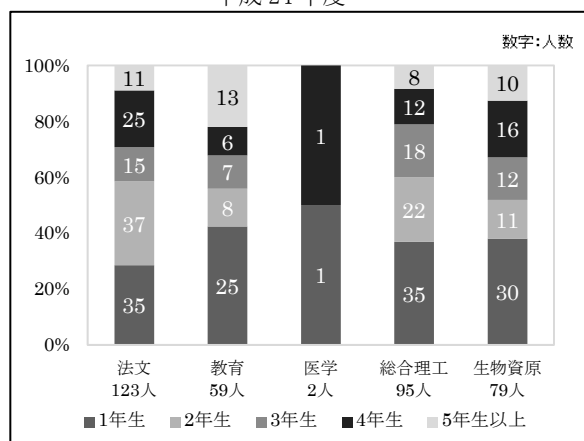
○平成 25 年度

平成 25 年 4 月 ～ 平成 26 年 3 月

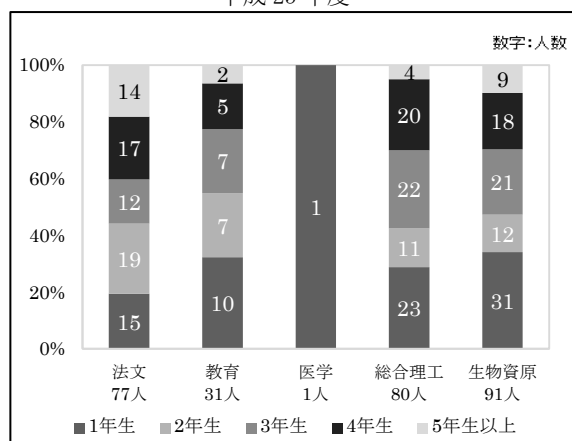
相談内容 所属等	性別	修学・ 進路	対人 関係	心身 健康面	学生 生活	家庭・ 家族	ハラスメント	コンサル テーション	その他	計
学部生	男子	102	25	162	387	9	18	1	76	780
	女子	70	49	456	408	9	31		78	1,101
大学院生・ 研究生等	男子	24	11	48	19	2	4		6	114
	女子	5	6	22	3		7		1	44
留学生	男子	1		22	2			1	5	31
	女子									0
職員	男子	16	6	81	2	1	10	187	202	505
	女子	1	3	36		7	1	41	40	129
家族・ その他	男子	9			3		2	15	20	49
	女子	13	1	2	10	6		18	68	118
計	男子	143	41	313	413	12	34	204	309	1,479
	女子	89	57	513	421	22	39	59	187	1,392

## 学部・学年別（学部生）相談実人数

平成 24 年度



平成 25 年度



## 4. その他の活動

### ① 「気になる学生」調査について

【はじめに】

保健管理センター松江では教員との連携を勧めるために、平成 19 年度文部科学省学生支援 GP の支援を受け、教員から「気になる学生」を紹介してもらい、カウンセラーが教員とともに学生の援助方法を考え支援するという「気になる学生」調査を行っている。これは、相談のあった教員にカウンセラーが会い、詳しい状況を聞き、教員が学生の状況をどのように把握しているのか、教員と学生の関係はどうかを見立て、教員に対してコンサルテーションを行い、学生についての共通理解を図り対応をともに考える取組である<sup>1)</sup>。

【方法】

教員とのコンサルテーションの結果、カウンセラーとの面接が必要と考えられた学生に対しては、(a)教員が本人に面接を勧める、(b)学生が教員からの電話やメールに応じない場合には、学生支援課より手紙で学生に連絡する、(c)それでも連絡がつかない場合は、学生の安否確認のため教員もしくはカウンセラーが保護者に連絡する、という手順で対応した(図 1)。

【結果】

2014 年 3 月末までに相談に来談した教員は 140 名で、相談にあがった学生は、266 名であった(図 2)。

相談理由では研究室配属前の「欠席過多」が 162 名(61%)と最も多く、研究室配属後にゼミや卒業研究に出られない「研究室に来ない」が 44 名(17%)、「病気が心配」が 28 名(11%)、「コミュニケーションが心配」が 14 名(5%)、「学力不足が心配」が 6 名(2%)、「その他」の内容は、ハラスメントや分属の問題

などであった(図 3)。2014 年 3 月末現在において、相談のあった学生 266 名のうち、卒業した学生が 125 名(47%)、登校している学生が 42 名(16%)、退学・除籍になった学生が 83 名(31%)、休学している学生が 6 名(2%)、不登校の学生が 10 名(4%)であった(図 4)。

【まとめ】

この取り組みにより、多くの不登校ぎみの学生が卒業、登校を再開している。また退学・除籍を選んだ学生も 3 割いたが、指導教員や保護者、カウンセラーとともに次の進路を考えた上で

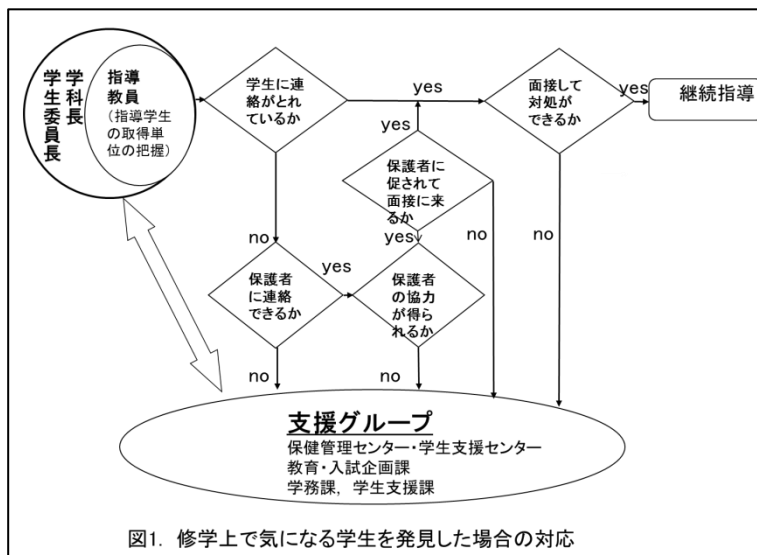


図1. 修学上で気になる学生を発見した場合の対応

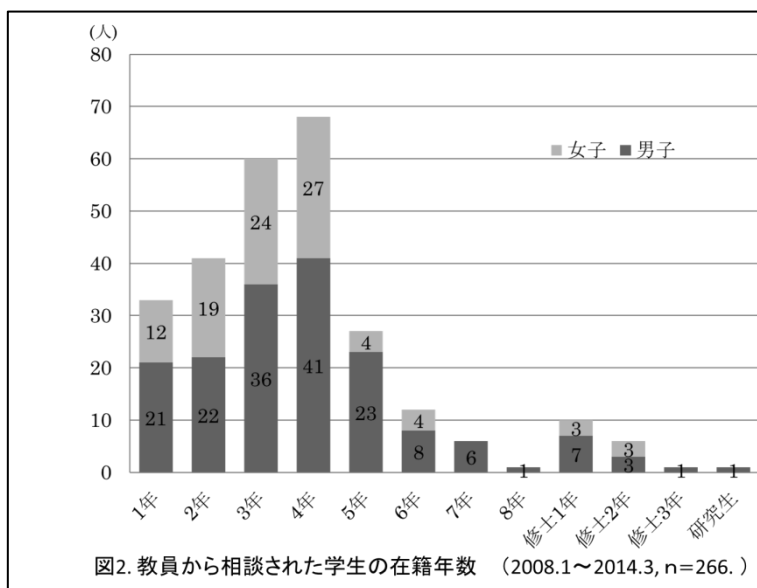
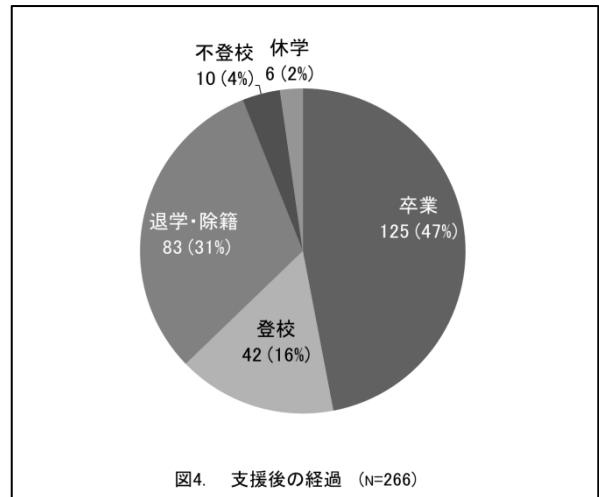
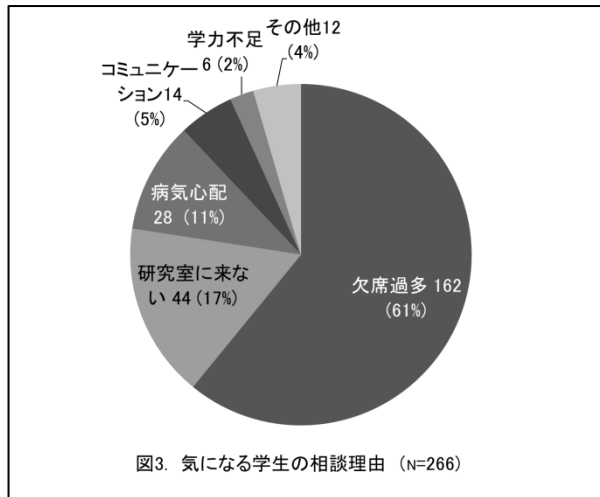


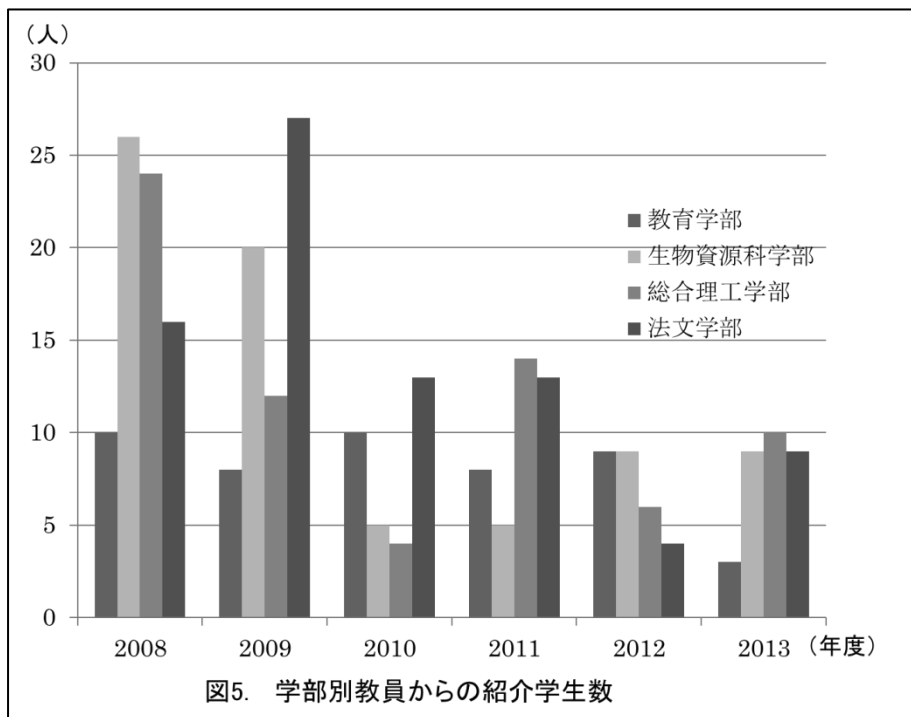
図2. 教員から相談された学生の在籍年数 (2008.1~2014.3, n=266.)



決断した学生が多かった。

学部別にみた教員からの紹介学生数を図5.に示す。開始当初は足踏みをしていた過年度生を紹介されることが多かったが、最近では減少傾向にある。近年の相談件数が減ってきたことは、1). たまっていた過年度生が卒業・退学など進路を決めたため、2). 教員の指導力が向上し独自で指導できるようになったため、3). 新任教員などこの取り組みを知らない教員がいるため、などが考えられる。

今後も全教員に周知するように、学部の教授会などで働きかけていく必要性が示唆された。



### 参考文献

1. 河野美江 早瀬真知子 寺脇玲子：「気になる学生」調査をきっかけとした学生支援。学生相談研究 34 (1), 23-35, 2013

## ② 新入生面接とメンタルヘルス不調者に対するフォローアップ

### 【はじめに】

保健管理センター松江では、12年前より健康診断時に医師が新入生全員を対象として面接を実施していたが、平成23年度からはメンタルヘルス不調の学生の早期発見・早期対応を目的に、新入生健康診断時の医師による全員面接でメンタルヘルス不調と判断された新入生に対し、カウンセラーがフォローアップを行っている。

### 【方法】

#### 1) 入学時医師面接

新入生約1300名に対し、新入生健康診断時の身体測定後（身長、体重、血圧、視力測定）後、2名の医師が健康面のチェックと医師面接を行った。メンタルヘルス不調者は、ア) 入学時健康調査票(精神面)にチェックが多い、イ) 面接で、大学生活に対する不安が大きい、ウ) 自ら相談を希望、エ) 視線が合わないなど医師が高リスクと判断、とした。

#### 2) カウンセラーによるフォローアップ

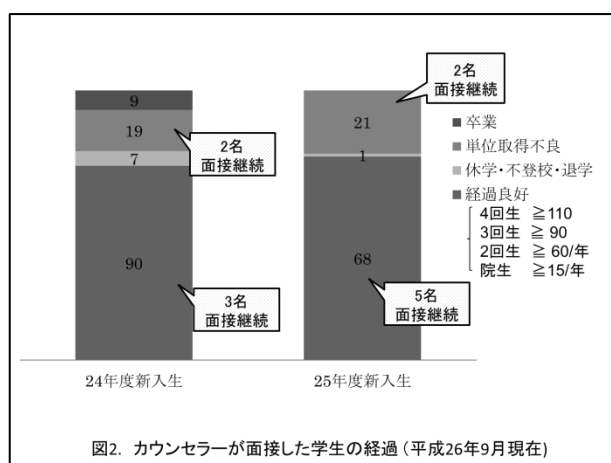
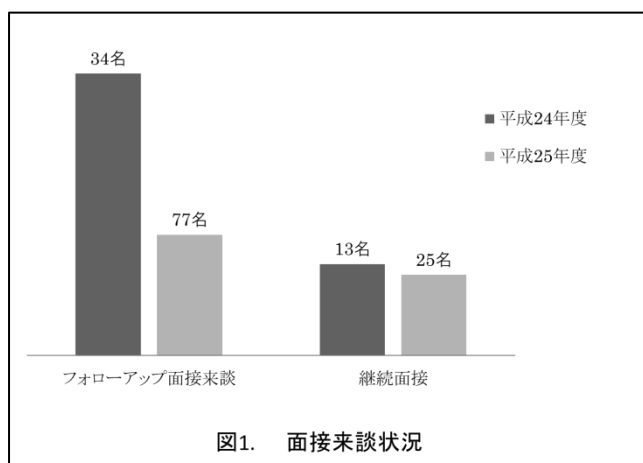
医師面接において、メンタルヘルス不調と判断された学生は、当日カウンセラーと短時間会い、後日カウンセラーによるフォローアップを受けるよう勧めた。カウンセラーによるフォローアップ面接は、大学になじんでいるか、困っていることはないかなどで、来談のなかった学生にはメールや電話で様子を聞いた。継続が必要と判断された学生に対しては、継続面接を勧めた。

### 【結果】

医師面接において、メンタルヘルス不調と判断された新入生は、平成24年度125名(9.7%)、平成25年度90名(6.8%)であった。フォローアップ面接に来談した学生は、平成24年度77名、平成25年度33名で、継続面接を行った学生は平成24年度25名、平成25年度22名であった(図1)。カウンセラーが面接した学生の経過は、26年9月時点で24年度新入生のうち5名、25年度新入生のうち7名に継続面接を行っている(図2)。

### 【まとめ】

新入生面接とメンタルヘルス不調者に対するフォローアップの取り組みの結果、発達障害・精神障害などメンタルヘルスに問題を抱えている学生と入学早期に出会うことが出来た。その結果、修学・生活支援が必要な学生に対して、保護者や指導教員と連携しながら継続して支援することができ、大学生活への適応を促進したと考えられた。



### ③ 学内外機関との連携

#### ○島根県東部発達障がい者支援センター「ウィッシュ」

保健管理センター松江では、島根県東部発達障がい者支援センター「ウィッシュ」担当者による個別の就労相談を行っている。2012年度の相談件数は、前期は6件、後期は4件であった。学生が自分の困っていることに気づいたり、卒業後の相談機関につないで将来に備える機会になった。

2013年度の相談件数は前期4件、後期0件であった。7月に学内に障がい学生支援コーディネーターが赴任したため、後期の相談がなかったと考えられる。

#### ○独立行政法人 高齢・障害・求職者雇用支援機構 島根障がい者職業センター

障がい者職業センターは、職業評価・通所訓練、就職や職場定着に向けた支援を行っている。発達障がいのある学生にとっては、自分の社会的適性を知ることが、将来の自立に向けて必要になってくる。担当者と随時連携を取りながら進めている。

#### ○しまね東部若者サポートステーション

しまね東部若者サポートステーションは、若者（～40歳位）の支援を行っており、パソコン講座、就労支援セミナー、働くための基礎講座など若者向けのプログラムを行っている。大学に行きにくい学生や、ハローワークでの就職活動が困難な学生に対し、前段階としてサポートステーションでのパソコン講座や就職のための面接練習を紹介している。

担当者と随時連携を取りながら進めている。

#### ○島根大学障がい学生支援部門

平成24年7月より島根大学学生支援センターに、障がい学生支援コーディネーターが赴任し、障がい学生支援部門ができた。連携し活動している。

#### ④ グループ活動

○2012 年度

前期は 12 回開催し、延べ参加者数は 22 名、後期は 14 回開催し延べ参加者数は 34 名であった。

前期は同じメンバーで趣味の話ができたことが参加動機となっていたようだ。後期は前期に授業の関係で参加できなかったメンバーが加わり、話題も広がった。

月に一回、ウィッシュ（島根東部発達障がい者支援センター）の担当者もファシリテーターとして参加した。

前期（日時）	参加人数	後期（日時）	参加人数
4.25	1	10.3	2
5.9	1	10.10	2 ウィッシュ参加
5.16	2 ウィッシュ参加	10.17	3
5.23	2	10.24	3
5.30	2	10.31	2
6.6	2	11.7	3
6.13	2 ウィッシュ参加	11.14	3 ウィッシュ参加
6.20	2	11.28	2
6.27	2	12.5	2
7.4	2	12.12	3 ウィッシュ参加
7.18	2 ウィッシュ参加	1.9	2
7.25	2	1.16	1 ウィッシュ参加
		1.30	3
		2.6	3

○2013 年度

前期は 16 回開催し、延べ参加者数は 41 名であった。新入生や編入生も迎えて、大学生や一人暮らしをサポートするような話題（試験の事や料理のことなど）も広く話した。

後期は 16 回予定していたが、研究会開催や試験期間と重なったため 14 回の開催であった。前年度から継続して前期まで参加していた学生が、後期は授業のため全く参加できなくなり延べ参加者数は 21 名であった。

月に一回、ウィッシュ（島根東部発達障がい者支援センター）の担当者もグループにファシリテーターとして参加した。

前期（日時）	参加人数	後期（日時）	参加人数
4.17	1	10.9	2
4.24	2	10.16	1
5.1	3	10.23	3
5.8	3 ウィッシュ参加	10.30	0
5.16	1	11.6	3
5.22	3	11.13	2 ウィッシュ参加
5.29	3	11.20	1
6.5	4	11.27	0
6.12	3	12.4	中止
6.19	3 ウィッシュ参加	12.11	2 ウィッシュ参加
6.26	3	12.18	1
7.3	3	1.8	3 ウィッシュ参加
7.10	0	1.15	1
7.17	4 ウィッシュ参加	1.29	2
7.24	3	2.5	（試験）
7.31	2	2.12	0 ウィッシュ参加

## ⑤ 学生メイト

### ○学生メイトとは

多様な学生が大学に入学するようになり、発達障がいや学力不足など様々な要因により修学上の困難を抱える学生が増えている。本学において、教育開発センターや各学部のチューター制度により初年時教育の充実が行われているが、実際にはそれらの取り組みで対応しきれない学生が保健管理センターに来所し、カウンセラーによる履修登録やスケジュール管理、レポート指導など個々の支援を受けているのが現状である。

そこで、平成25年度学長裁量経費（戦略的経費）プロジェクト「地域と育つ学生生活支援システムの構築」により、保健管理センターで支援しているこれらの「修学に困難を抱える学生」に対し、各研究科の大学院生などが支援者となって学業を支援する「学生メイト」のシステムを構築した。支援を受ける学生のみならず、修了後教員・臨床心理士を目指している大学院生にとって、「修学に困難を抱える学生」への支援活動を通して、自らの問題意識と対応力量を磨くと共に、それぞれの進路に対する目的意識の明確化に資する機会になる。

### ○学生メイトの登録と活動状況

2013年9月から学生メイトの登録を開始し、4名が登録した。メイト利用学生は2名で、カウンセラーが学生メイトを指導しながら学生のサポートを行った。

#### (ア) メイト利用学生 A 3回

学生メイトが履修登録のサポートをしながら、学生生活に慣れるように日常の細かい疑問に付き合った。Aは大学で学ぶ自信がついてきた。

#### (イ) メイト利用学生 B 18回

学生メイトと一緒に図書館に行き、レポート作成をサポートした。Bの単位取得に結びついた。

### ○学生メイトへの研修

登録した学生メイトに対して「学生メイト講習会」を開催した。

登録した学生メイトに対して、①「支援を必要とする学生」についての講義、②登録学生の自覚を促す、③理解を深める、という目的で3回の講習会を保健管理センターで実施した。

12月「支援を要する学生の理解と対応について」 参加メイト3人

講師：難波寿和（山陰発達障害者当事者会・スモステの会）

2月 「動作法を学ぶ」 参加メイト2人

講師：執行三佳（臨床心理士）

3月；「サポートの心構え」 参加メイト5人

講師：飯島睦美（松江工業高等専門学校）

## ○学生メイト資料

**学生メイト（教員への説明用）**

大学においても支援を必要とする多様な学生が入学してきている。「学生生活・健康面の支援をする学生」を学生から募り、**学生メイト**として保健管理センター、学生支援センターとの連携のもと、活動を行う。

**【学生メイトの活動内容】**

○学生生活・健康面で不安を抱える学生に対して大学生活を送るうえでの手続き等の相談やアドバイス、日常生活支援をおこないます（学生生活全般の相談や、正課外活動、その他の相談に応じます）

○学生メイト登録希望の学生のうち、参加可能な者に活動内容の説明をおこない、その後学生メイトとしての活動を始めます。

○学生メイト登録時に提出された個人情報、この活動以外には使用しません。

**【活動の流れ】**

1. 説明会 学生生活・健康面に不安を抱える学生について
2. 登録・面接 学生メイト登録申込書に記入後、面接、**保健管理センター**へ提出し登録手続きを行う  
**登録申込書（別紙参照）**
3. 業務内容説明 参加可能な学生を対象にした活動内容の事前説明会をおこなう
4. レポート決定 当該活動の学生メイトを決定する
5. 活動 レポート活動を行い記録を提出。
6. 活動検証・報告会 活動報告会を開催して当該活動についての検証をおこなう
7. 謝金 活動に従事した学生に対して、大学から謝金を支払う。（基本支給額：大学院生1時間1000円程度）  
（詳細についてはその都度決定する）

**【注意事項】**

- 登録学生は、本学の諸規則および次の注意事項を遵守すること
- レポート活動を、ほかの目的（宗教活動への勧誘、マルチ/マルチまがい商法等）に利用しないこと
- レポート活動で得た情報を、ほかの目的で使用しないこと
- 利用者のプライバシーを守ること

**学生メイトの利用について**

鳥根大学ではこのたび学生生活や健康面で不安を抱える学生へのサポートを充実させることにし、学生メイトを活用していくことになりました。

**【利用の手順】**

「学生生活や健康面でサポートを必要とする」学生

↓

保健管理センター・学生支援センターに相談

↓

学生メイトによる支援が必要

↓

学生メイト利用申込書を提出  
（学生メイト利用申込書は守秘義務を負う教職員のみがみます）

↓

学生メイトによる支援開始

**【学生メイトとは】**

- 保健管理センターに登録している学生・大学院生
- 個々のニーズに対応した支援をする学生
- 学生メイトに登録している学生は、利用者について守秘義務が課せられています

**【留意点】**

- 学生メイト利用申込書は学生メイトが見ることはありません

**学生メイト利用申込み書**

※記入日 \_\_\_\_\_ ※記入者 \_\_\_\_\_

学部	学生番号	性別	男・女
学科	氏名	生年月日(年齢)	

連絡先 \_\_\_\_\_ 携帯電話・メール \_\_\_\_\_

現在困っていること  学校生活  日常生活  その他 \_\_\_\_\_

希望する支援 \_\_\_\_\_

具体的な支援	回数	<input type="checkbox"/> 1～ 回/月	<input type="checkbox"/> 1～ 回/週	<input type="checkbox"/> その他
	時間	<input type="checkbox"/> 午前 ( : ~ : )		
		<input type="checkbox"/> 午後 ( : ~ : )		
場所	学内 ・ 保健管理センター ・ その他 ・ 教室 ・ 図書室			

特記事項 \_\_\_\_\_

上記の利用を申込みます。  
年 月 日 氏名 \_\_\_\_\_ (自筆)

**学生メイト登録申込書**

所属・氏名 \_\_\_\_\_ 学部・研究科 \_\_\_\_\_ 学科（課程）・専攻 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_

〒 \_\_\_\_\_  
学生番号 \_\_\_\_\_ 氏名 \_\_\_\_\_

TEL ( ) \_\_\_\_\_

メールアドレス \_\_\_\_\_ @ \_\_\_\_\_

**注意事項**

○ 登録学生は、本学の諸規則及び次の注意事項を遵守すること。

- **学生メイト**活動を、他の目的（宗教活動への勧誘、マルチ/マルチまがい商法等）に利用しないこと。
- **学生メイト**活動で得た情報は、他の目的で使用しないこと。
- 利用者等の個人情報・プライバシーを守ること。

○ 大学は、この登録により得た個人情報を他の目的に使用しません。

下記署名欄への署名で、学生メイトへの登録に同意を得たものとします。

平成 年 月 日 署名 \_\_\_\_\_

## ⑥ 緊急支援

○2012 年度

- ・2012. 12. 7 教員にメールで内閣府の取組みである「ゲートキーパー」の情報提供を行った。

<p>島根大学教職員の皆様 保健管理センター所長 竹永三男 自殺予防のご協力お願い</p>
<p>日頃保健管理センターの活動にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。 今回は、若者の自殺予防に関して教職員の皆様にご協力をお願い申し上げます。 新聞、テレビなどでも報道されていますように、日本における自殺者数はこの 10 数年間、毎年 3 万人を超え、大きな問題となっています。これに対し、政府も様々な対策を取っており、社会的な支援活動もあって、50 代男性の自殺者数は減少傾向にあります。 これに対して、若者の自殺は、平成 23 年度は前年度の 450 人が 529 人となるなど、増加傾向にあります。 この増加には、不景気や就職難が一因になっていると言われています。 関係統計によりますと、国立大学の自殺者数は約 5000 人に 1 人（/年）と言われていますが、こうした状況は、島根大学においても明確に見られるところです。 全国の大学の調査では、自殺者の 7 割は保健管理センター等に相談していなかったという報告がありますが、島根大学で過去に起きた自殺と思われる死亡学生についても、こうした相談をした学生は、1 割以下となっています。このことからすれば、当該学生を保健管理センター等の相談機関につなぐことが、自殺予防のために大きな役割を果たすと考えられます。 内閣府では、身近な人に「ゲートキーパー」（悩んでいる人に気づき、声をかけ、話を聞いて、必要な支援につなげ、見守る人のこと）になってもらい、自殺者を減らす取り組みを進めています。 教員、職員の皆様にもぜひゲートキーパーとしてご協力いただきますよう、お願い申し上げます。 なお、「ゲートキーパー」に関する内閣府の説明資料（『誰でもゲートキーパー手帳』ほか）は次のサイトでご覧いただけます。 <a href="http://www8.cao.go.jp/jisatsutaisaku/kyoukagekkan/gatekeeper.html">http://www8.cao.go.jp/jisatsutaisaku/kyoukagekkan/gatekeeper.html</a> どうぞよろしく申し上げます。</p>

- ・災害ボランティア事前指導

8/8, 10 に、東日本大震災被災地に支援に行く学生 10 人に対し、事前指導を行った。

○2013 年度

- ・大学公認サークル活動中の事故により、参加児童が怪我をした事例（10 月）

事後対応としてサークルのミーティングに参加し、思いがけない事故の際に起こりやすい心理状態についての心理教育を行い、心配があれば保健管理センターに相談するように勧めた。また事故現場にいた学生数人に対し、数回の面談を行った。1 ヶ月後のフォローでは、メンタル面で不調が続いている学生はいなかった。

- ・アルバイト先での暴力被害の事例（12 月）

学生が怪我をして保健管理センターに来所したことより、半年間にわたってバイト先店長から暴力を受けていた事件が発覚した。怪我の応急処置及び病院紹介、病院入院中のメンタルケアを行った。また、一緒にバイトしていた学生にも面談を行い、保護者に伝えた。

- ・学生の突然死の事例（3 月）

卒業予定の学生が下宿で死亡しているのが、同級生に発見された。親しかった学生等に来談を促し、話を聞き心理教育を行った。葬式にみんなで参加し、気持ちの区切りがついたということだった。同級生は卒業し大学を離れるため、それ以上のフォローは行わなかった。

### Ⅲ 教職員の健康管理

教職員の健康管理に関しては、表面的には小康状態が続いている。ただ最近、学内で心筋梗塞が発生したケースがあり、職員の高齢化に伴ってこれからこのようなケースがますます増えるのではないかと危惧される。健康診断の結果に問題があると思われる職員が目立つようになってきているように思う。今後、少子化は進み、職員は減らされていく傾向にあり、ストレスフルな職場環境になることが予測される。疾病予防のため、よりいっそう積極的な治療誘導が必要と考えるようになった。

やがてストレスチェック制度が導入される。どのような結果が出るかはわからないが、ストレスフルな職場環境を放置していたというようにならないように注意しなければならない。

(産業医 荒川長巳)

## IV 広報・啓発活動報告

### 1. 学内研修会の開催

#### ○「さまざまな学生への対処」研修会

開催日：平成24年12月5日（水） 12：00-13：00

場 所：島根大学松江キャンパス 法文学部2階多目的室

講 師：岡山大学保健管理センター 大西 勝教授

司 会：河野 美江 准教授

ミニレクチャー「学生のメンタルヘルス」

グループワーク ファシリテーター

児山 志保美 カウンセラー， 執行 三佳 カウンセラー

和田 葉子 カウンセラー， 山下 由利子 カウンセラー

早瀬 眞知子 カウンセラー， 小林 亮輔 カウンセラー

#### 事例1 不登校・ひきこもり学生への対応

理系学部3年生，男子，自宅通学。幼少時から大人しく真面目で，推薦入学した学生。

1年生，2年生の時は，本人より指導教員に相談はなかったので，大学は本人の状況は理解していなかった。3年次終了時点におけるの修得単位数が20単位であったため，アドバイザー教員と教務担当者が，極端な成績不振者への指導ということで，学生本人に連絡を取ったが，本人から応答はなかった。4年前期の履修登録もされず，大学の制度として「履修未登録学生については，その状況を保護者へ通知する」ことになっているため，指導教員が保護者に連絡をとった。

保護者は全く状況を知らず，驚いていた。自宅からは毎日，お弁当をつくってもらい通学していたため，保護者は大学へ行っているものと思っていた。保護者が本人に聞いたところ，大学には来ないで，公園で弁当を食べて帰る日が続いていたようだった。

その後，アドバイザー教員が本人から聞いたところでは，過年度学生のため友達が少なく，内気でコミュニケーションも苦手なため，レポートを借りる等できず学習は遅れていく一方であったようだった。アルバイト等もしておらず，今後の目的も特にないということだった。本人へ履修指導をして大学に来よう指導したが，結局履修登録はされなかった。

保護者がアドバイザー教員に相談して，保健管理センターに連絡を取り，ようやくカウンセリングにつながったところである。指導教員としては，今後履修指導や授業への出席など，どのくらいかかわったら良いのか心配している。

**検討課題** 不登校・ひきこもり学生に対して，指導教員・教務事務担当者・保健管理センター・学生なんでも相談窓口が連携して対応するよう努めているが，今後，不登校学生の早期発見や対応について，教員や大学はどのような対応をすればよいか教えてほしい。

#### 事例2 成績不振で発達障害のある学生への対応

大学3年生，理系学部，男子。親元を離れてアパートに一人暮らししている。

入学時に，軽度発達障害であるとの説明を保護者から受けている。

大学1年次は基礎科目が多かったため，単位はそれなりに取得できていたが，専門科目が増える2年次からは，学科の専門科目の不合格が多くなった。3年次からは保護者からの要望により，週に2

回個別指導しており、一定の効果は見られるが、それでも不合格科目が2/3以上という状況である。暗記はできるので記憶すれば合格できる科目は合格できるが、概念を理解し応用して考えることが必要な科目の単位を取得することは難しいと思われる。

指導教員が面談した時に、本人は成績不振に悩んでおり、不眠・食欲不振もあるようであり、保健管理センターのカウンセラーに紹介した。在籍年限の8年までに卒業するのはやや難しいと思われ、進路の変更について検討する必要があるが、本人は継続して在籍を希望している。保護者は、子供の大学卒業を目標と考えているため、しばらくは継続在籍を希望している。

大学としては、本人が就職することを目標にしたいと考えている。このまま成績不振が続けば、健康状態の悪化や学習意欲が低下するのではないかと心配である。

また、大学を卒業できたとしても、大卒扱いになってしまうことで就職に不利に作用することも考えられ、退学して別の進路を選択した方が就職面では有利ではないか、と思案している。

**検討課題** 本人の進路指導をどのように導いていくのがよいか、また保護者との連携においてどのような対応が考えられるか、カウンセリングではどこまで学生のフォローをすればよいのか教えていただきたい。

平成24年度より、従来日本学生支援機構が行っていたメンタルヘルス研究協議会研修会がなくなったため、学内教職員に向けたグループワーク形式の研修会を新たに開催した。

島根大学より25名、他機関より6名の教職員が参加し、グループに分かれて事例1,2について検討した。それぞれのグループから発表してもらい、大西勝教授にコメントしていただいた。事後のアンケートでも、好評な意見が多かった。

#### 1. 「ミニレクチャー」について

a. 有意義だった 33名    b. あまり有意義でなかった 0名    c. どちらともいえない 0名  
感想・とても分かりやすいレクチャーだった。

- ・学生の対応について、基本的心構え、ポイントを示していただき、勉強になった。
- ・関係者がしっかり共有化をして、学生の成長を信じて対応していきたい。
- ・教員・学生センター・保護者の役割分担の仕方が見えて、少し気が楽になった。など

#### 2. 「グループ別討議」について

a. 有意義だった 32名    b. あまり有意義でなかった 1名    c. どちらともいえない 1名  
感想・様々な意見が出て、視野が広がった。良い機会になった。

- ・「早期に対応する」手立てについて、一人で抱えこまないで知恵を出し合うことが大切であると感じた。など

#### ○「気になる学生」への対処について

開催日：平成24年12月5日（水） 11：00-12：00

場 所：保健管理センター松江2階会議室

学務課、学生支援課、キャリアセンターなどの職員を対象に、「気になる学生」への対処について岡山大学保健管理センター 大西勝教授とともに、話し合った。

## ○「大学生の危機対応」研修会

開催日：平成 25 年 12 月 4 日（水） 13：00-16：00

場 所：島根大学松江キャンパス 法文学部 2 階多目的室

講 師：広島大学保健管理センター 内野悌二准教授

ミニレクチャー 「大学生の危機への対応」

グループワーク ファシリテーター

荒川 長巳 教授, 河野 美江 准教授

和田 葉子 カウンセラー, 山下 由利子 カウンセラー

早瀬 眞知子 カウンセラー, 執行 三佳 カウンセラー

### 事例

3 年次女子学生（下宿生）が多量服薬の自殺企図をし、気づいた友人が救急車を呼んで病院に搬送されることがあった。それまでもリストカット、大量飲酒などを繰り返していた。1 週間後退院し、学生は自宅療養を拒否し、復学する。保護者から学生総合支援センターにケアが依頼される。さまざまな人から支援を得て、しばらく落ち着いていた。その後、学内の校舎の窓から転落死した（遺書はなかったが、事件性はなく、自殺と推定された）。ちょうど休憩時間帯だったため、多くの学生が目撃し、泣きじゃくる者や不調を訴えて医務室に運ばれる者などが複数いて、混乱状況に陥った。女子学生のゼミ教員や学科長は、学生にどのように伝えたらよいか途方に暮れた。

女子学生の救急搬送後すぐに学生総合支援センターから保健管理センターに事実経過の連絡があり、女子学生の所属学科事務室から、救急支援を依頼する電話がかかった。

### 危機対応から事後の対策へ

島根大学より 28 名、他機関より 4 名の教職員が参加し、グループに分かれて事例についてシナリオ・プランニングをおこなった。それぞれのグループから発表してもらい、内野悌二准教授にコメントしていただいた。

## ○「気になる学生」への対処について

開催日：平成 25 年 12 月 4 日（水） 11：00-12：00

場 所：保健管理センター松江 2 階会議室

学務課、学生支援課、キャリアセンターなどの職員を対象に、「気になる学生」への対処について広島大学保健管理センター 内野悌二准教授とともに、話し合った。

## 2. 教員・学生対象の研修会

### ○平成 24 年度

- 総合理工学部新入生対象 「学生生活の安全—カルト勧誘を中心に—」(荒川)
- 島根大学新規採用者研修 (荒川)
- 島根大学新規採用者フォローアップ研修 (荒川)
- 島根大学附属中学校性教育講演会(1,3年生対象・河野)
- 附属生物資源教育研究センター農場教職員対象「学生のメンタルヘルス入門」(河野)
- 法文学部教授会「学生の自殺予防について」(河野)

### ○平成 25 年度

- 総合理工学部電子制御学科新入生対象「コミュニティづくりワークショップ」(2回荒川)
- 島根大学新規採用者研修 (荒川)
- 島根大学附属中学校性教育講演会(1,3年生対象・河野)

#### ・学生相談連携会議

平成 25 年度より法文学部教授会，総合理工学部学生委員会，教育学部学生委員会，生物資源科学部教授会において学生相談連携会議を行った。これは保健管理センターの中期目標・中期計画に基づいたもので、「学生相談連携会議」を定期的で開催し学生支援の現状と課題を確認・共有した上で、適切な対応を行うための基本方針を提起することを目的としている。

各学部保健管理センター松江のメンバーが出かけていき、「気になる学生調査」や「新入生面接とカウンセラーによるフォローアップ」などの保健管理センターの活動を報告した後、該当学部が多い学生の事例について学部教員と話し合った。

## 3. 保健管理センター ホームページ

2013 年 3 月 31 日、島根大学保健管理センター松江ホームページを全面リニューアルした。アドレスは <http://www.ipc.shimane-u.ac.jp/~health/> である。

### 【2013. 4. 11 発行】 鳥インフルエンザについて

4 月 1 日付けで公表された世界保健機関 (WHO) の情報によりますと、中国の国家衛生・計画出産委員会は 3 月 31 日、インフルエンザ A (H7N9) に感染した患者が 3 人発生したと WHO に報告しました。患者は上海市で 2 名、安徽省で 1 名発生しました。患者は 3 人とも重症の肺炎と呼吸困難を合併した呼吸器感染症を発症し、うち 2 人は死亡し、1 人は現在重篤な状態にあります。

- ・詳しくは、[コチラ](#) (島根県 HP)

**【2013. 4. 15 発行】 PM2.5 注意喚起情報**

PM2.5 の日平均値が  $70 \mu\text{g}/\text{m}^3$  を超えると予測される場合、その日の午前8時に注意喚起情報を掲載します。注意喚起情報は、「しまね防災メール」登録者へメール配信します。

- ・詳しくは、[コチラ](#)（島根県 HP）

**【2013. 4. 15 発行】 風疹が流行しています**

風疹については、兵庫県・大阪府・東京都などを中心に発生しています。

島根県内においても報告がありました。

- ・詳しくは、[コチラ](#)（島根県 HP）

**【2013. 4. 23 発行】 子宮頸がんワクチンについて**

厚生労働省 HP にて、子宮頸がん予防ワクチン、ヒブワクチン、小児用肺炎球菌ワクチンについて紹介しています。

- ・詳しくは、[コチラ](#)（厚生労働省）

**【2013. 4. 23 発行】 熱中症に注意してください**

**【2013. 7. 22 発行】 マダニに咬まれないように注意しましょう！**

**【2013. 7. 24 発行】 ハチさされに注意してください**

**【2013. 12. 13 発行】 インフルエンザに注意しましょう！**

**【2013. 12. 13 発行】 ノロウイルスなどによる感染性胃腸炎にご注意ください**

**【2014. 3. 24 発行】 学生健康診断が始まります**

#### 4. カルト対策

- ・合格通知に新入生および保護者あてにカルトに気をつけるよう書いたチラシを同封した。
- ・入学式の祝辞において保健管理センター所長がカルトに対する注意を促した。
- ・新入生の健康診断時に注意を喚起し、すでに勧誘を受けていたら勧誘手口の情報を収集した。
- ・一般教養「健康スポーツ」の講義において、最新の勧誘手口とともにカルトの危険について講義をした。
- ・総合理工学部新入生を対象に、「学生生活の安全—カルト勧誘を中心に—」の講義をした。
- ・具体的な勧誘手口がわかった段階で、メールを利用して全学生に注意を喚起した。

出雲キャンパス

## I 事業・業務

○平成 24 年度

月	行 事	内 容
4 月	新入生オリエンテーション 新入生健康調査 新入生心理テスト 学生定期健康診断	保健管理センターの利用案内等 健康管理カードの提出 ACS、QIDS-J 調査表の提出 胸部 X 線検査、内科、耳鼻咽喉科、眼科
5 月	学生定期健康診断	胸部 X 線検査、内科、耳鼻咽喉科、眼科
6 月	学生定期健康診断事後措置	再検査（尿・血圧）、受診勧奨
7 月	学生定期健康診断事後措置 健康教室（西医体対策） 学生の B 型肝炎ワクチン接種（第 3 回目）	再検査（尿・血圧）、受診勧奨 テーピング講習会 医学科 2 年・4 年編入生、看護学科 2 年・4 年編入生の該当者
8 月	入学者選抜試験（医学科学士入学、看護学科 3 年次編入学） 島根学生相談研究会 中国四国大学保健管理研究集会（高松市）	救護
9 月	入学者選抜試験（医学科学士入学第 2 次試験）	救護
10 月	学生の 4 種感染症及び B 型・C 型肝炎の抗体等に関する検査 外国人研究留学生・外国人研究者健康診断	医学科 1 年・3 年次編入生、看護学科 1 年・3 年次編入生全員
11 月	学生のインフルエンザワクチン接種	医学科 5・6 年、看護学科 3・4 年の希望者
12 月	入学者選抜試験（推薦入学） 外国人研究留学生・外国人研究者健康診断	救護
1 月	学生の B 型肝炎ワクチン接種（第 1 回目） 大学入試センター試験	医学科 1 年・3 年次編入生、看護学科 1 年・3 年次編入生の該当者 救護
2 月	学生の B 型肝炎ワクチン接種（第 2 回目） 入学者選抜試験（前期日程試験）	医学科 1 年・3 年次編入生、看護学科 1 年・3 年次編入生の該当者 救護
3 月	入学者選抜試験（後期日程試験） 島根学生相談研究会	救護

### 【年間を通しての業務】

1. 日常の健康相談（身体面及びこころの健康相談）
2. 応急処置
3. 医療機関（専門医）への紹介
4. 定例カウンセリング 和田臨床心理士週 2 回、早瀬臨床心理士月 2 回
5. 健康診断書の発行
6. 休養室の利用案内
7. 救急カバンの貸し出し
8. 検査機器の利用案内（体内脂肪計、血圧計、視力計等）
9. センター出雲会議 月 1 回
10. 学生相談懇談会 月 1 回（医学部学生相談室と共催）

○平成 25 年度

月	行 事	内 容
4 月	新入生オリエンテーション 新入生健康調査 新入生心理テスト 学生定期健康診断	保健管理センターの利用案内等 健康管理カードの提出 ACS、GHQ 調査表の提出 胸部 X 線検査、内科、耳鼻咽喉科、眼科
5 月	学生定期健康診断	胸部 X 線検査、内科、耳鼻咽喉科、眼科
6 月	学生定期健康診断事後措置	再検査（尿・血圧）、受診勧奨
7 月	学生定期健康診断事後措置 健康教室（西医体対策） 学生の B 型肝炎ワクチン接種（第 3 回目）	再検査（尿・血圧）、受診勧奨 テーピング講習会 医学科 2 年・4 年編入生、看護学科 2 年・4 年編入生の該当者
8 月	入学者選抜試験（医学科学士入学、看護学科 3 年次編入学） 島根学生相談研究会 中国四国大学保健管理研究集会（山口市）	救護
9 月	入学者選抜試験（医学科学士入学第 2 次試験）	救護
10 月	学生の 4 種感染症及び B 型・C 型肝炎の抗体等に関する検査	医学科 1 年・3 年次編入生、看護学科 1 年・3 年次編入生全員
11 月	外国人研究留学生・外国人研究者健康診断（11 月～3 月） 学生のインフルエンザワクチン接種	医学科 5・6 年、看護学科 3・4 年の希望者
12 月	入学者選抜試験（推薦入学）	救護
1 月	学生の B 型肝炎ワクチン接種（第 1 回目） 大学入試センター試験	医学科 1 年・3 年次編入生、看護学科 1 年・3 年次編入生の該当者 救護
2 月	学生の B 型肝炎ワクチン接種（第 2 回目） 入学者選抜試験（前期日程試験）	医学科 1 年・3 年次編入生、看護学科 1 年・3 年次編入生の該当者 救護
3 月	入学者選抜試験（後期日程試験） 島根学生相談研究会	救護

【年間を通しての業務】

11. 日常の健康相談（身体面及びこころの健康相談）
12. 応急処置
13. 医療機関（専門医）への紹介
14. 定例カウンセリング 和田臨床心理士週 2 回、早瀬臨床心理士月 2 回
15. 健康診断書の発行
16. 休養室の利用
17. 救急カバンの貸し出し
18. 検査機器の利用（体内脂肪計、血圧計、視力計等）
19. センター出雲会議 月 1 回
20. 学生相談懇談会 月 1 回（医学部学生相談室と共催）

## II 保健管理業務

### 1. 学生定期健康診断および事後措置

健康診断項目

平成 24、25 年度

学年 \ 項目	質問紙による問診	身体計測 BMI	血圧測定	尿検査	内科診察	耳鼻咽喉科健診	眼科健診	胸部 X 線検査
医学科 1 年	○	○	○	○	○	○	○	○
医学科 2 年	○	○	○	○	○	—	—	—
医学科 3 年	○	○	○	○	○	—	—	○
医学科 4 年	○	○	○	○	○	—	—	—
医学科 5 年	○	○	○	○	○	—	—	○
医学科 6 年	○	○	○	○	○	○	○	○
看護学科 1 年	○	○	○	○	○	○	○	○
看護学科 2 年	○	○	○	○	○	—	—	—
看護学科 3 年	○	○	○	○	○	—	—	○
看護学科 4 年	○	○	○	○	○	○	○	○
医科学修士	○	○	○	○	○	該当者	該当者	○
看護学修士	○	○	○	○	○	該当者	該当者	○
博士課程	○	○	○	○	○	該当者	該当者	○

4 月～5 月 健康診断を実施する。(対象者は休学者を除く)

健診日程：内科・耳鼻咽喉科・眼科健診は計 3 日間、胸部 X 線検査は計 4 日間

健診場所：医学部附属病院（クリニカルスキルアップセンター、耳鼻咽喉科外来、眼科外来、放射線部）

6 月 健康診断の再検査（尿・血圧測定）を実施する。

6 月～7 月 総合判定の結果により、該当者（要医療・要精密検査）に対して受診勧奨を行う。

# ①医学部学生定期健康診断

○平成 24 年度 医学科

内科・耳鼻咽喉科・眼科健診受診率

対象者数は休学者を除く

		1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
男子	対象者数	59	78	71	60	51	44	363
	受診者数	59	71	64	50	51	44	339
	受診率	100.0	91.0	90.1	83.3	100.0	100.0	93.4
女子	対象者数	43	41	53	27	43	47	254
	受診者数	43	38	49	27	43	46	246
	受診率	100.0	92.7	92.5	100.0	100.0	97.9	96.9
計	対象者数	102	119	124	87	94	91	617
	受診者数	102	109	113	77	94	90	585
	受診率	100.0	91.6	91.1	88.5	100.0	98.9	94.8

胸部 X 線検査受診率

対象者数は休学者を除く

		1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
男子	対象者数	59		71		51	44	225
	受診者数	58		56		51	44	209
	受診率	98.3		78.9		100.0	100.0	92.9
女子	対象者数	43		53		43	47	186
	受診者数	43		51		42	47	183
	受診率	100.0		96.2		97.7	100.0	98.4
計	対象者数	102		124		94	91	411
	受診者数	101		107		93	91	392
	受診率	99.0		86.3		98.9	100.0	95.4

健診結果の判定区分

		1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
有所見者	要治療	0	0	0	1 (1.3)	1 (1.1)	0	2 (0.3)
	要精密検査	17 (16.7)	4 (3.7)	3 (2.7)	1 (1.3)	11 (11.7)	4 (4.4)	40 (6.8)
	要継続医療	3 (2.9)	4 (3.7)	0	1 (1.3)	4 (4.3)	3 (3.3)	15 (2.6)
	要経過観察	44 (43.1)	37 (33.9)	37 (32.7)	29 (37.7)	36 (38.3)	31 (34.4)	214 (36.6)
	措置を要せず	6 (5.9)	1 (0.9)	1 (0.9)	1 (1.3)	0	9 (10.0)	18 (3.1)
	計	70 (68.6)	46 (42.2)	41 (36.3)	33 (42.9)	52 (55.3)	47 (52.2)	289 (49.4)
異常なし		32 (31.4)	63 (57.8)	72 (63.7)	44 (57.1)	42 (44.7)	43 (47.8)	296 (50.6)
合計		102	109	113	77	94	90	585

○胸部 X 線検査有所見者 1名

○平成 24 年度 看護学科

内科・耳鼻咽喉科・眼科健診受診率

対象者数は休学者を除く

		1 年	2 年	3 年	4 年	計
男子	対象者数	9	10	8	7	34
	受診者数	9	10	8	7	34
	受診率	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
女子	対象者数	55	52	60	61	228
	受診者数	55	52	60	58	225
	受診率	100.0	100.0	100.0	95.1	98.7
計	対象者数	64	62	68	68	262
	受診者数	64	62	68	65	259
	受診率	100.0	100.0	100.0	95.6	98.9

胸部 X 線検査受診率

対象者数は休学者を除く

		1 年	2 年	3 年	4 年	計
男子	対象者数	9	/	8	7	24
	受診者数	9		8	7	24
	受診率	100.0		100.0	100.0	100.0
女子	対象者数	55		60	61	176
	受診者数	55		60	56	171
	受診率	100.0		100.0	91.8	97.2
計	対象者数	64		68	68	200
	受診者数	64		68	63	195
	受診率	100.0		100.0	92.6	97.5

健診結果の判定区分

		1 年	2 年	3 年	4 年	計
有所見者	要治療	0	0	0	0	0
	要精密検査	4 (6.3)	5 (8.1)	2 (2.9)	2 (3.1)	13 (5.0)
	要継続医療	0	2 (3.2)	4 (5.9)	0	6 (2.3)
	要経過観察	29 (45.3)	26 (41.9)	36 (52.9)	19 (29.2)	110 (42.5)
	措置を要せず	7 (10.9)	0	0	9 (13.8)	16 (6.2)
	計	40 (62.5)	33 (53.2)	42 (61.8)	30 (46.2)	145 (56.0)
異常なし		24 (37.5)	29 (46.8)	26 (38.2)	35 (53.8)	114 (44.0)
合 計		64	62	68	65	259

○胸部 X 線検査有所見者 なし

○平成 25 年度 医学科

内科・耳鼻咽喉科・眼科健診受診率

対象者数は休学者を除く

		1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
男子	対象者数	52	69	81	64	60	51	377
	受診者数	51	68	77	54	56	51	357
	受診率	98.1	98.6	95.1	84.4	93.3	100.0	94.7
女子	対象者数	50	44	46	48	25	43	256
	受診者数	49	44	40	45	25	42	245
	受診率	98.0	100.0	87.0	93.8	100.0	97.7	95.7
計	対象者数	102	113	127	112	85	94	633
	受診者数	100	112	117	99	81	93	602
	受診率	98.0	99.1	92.1	88.4	95.3	98.9	95.1

胸部 X 線検査受診率

対象者数は休学者を除く

		1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
男子	対象者数	52		81		60	51	244
	受診者数	52		78		60	50	240
	受診率	100.0		96.3		100.0	98.0	98.4
女子	対象者数	50		46		25	43	164
	受診者数	50		41		23	41	155
	受診率	100.0		89.1		92.0	95.3	94.5
計	対象者数	102		127		85	94	408
	受診者数	102		119		83	91	395
	受診率	100.0		93.7		97.6	96.8	96.8

健診結果の判定区分

		1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
有所見者	要治療	1 (1.0)	0	0	0	0	0	1 (0.2)
	要精密検査	5 (5.0)	6 (5.4)	8 (6.8)	10 (10.1)	1 (1.2)	5 (5.4)	35 (5.8)
	要継続医療	2 (2.0)	2 (1.8)	4 (3.4)	2 (2.0)	1 (1.2)	4 (4.3)	15 (2.5)
	要経過観察	43 (43.0)	38 (33.9)	32 (27.4)	21 (21.2)	16 (19.8)	29 (31.2)	179 (29.7)
	措置を要せず	6 (6.0)	0	0	2 (2.0)	0	6 (6.5)	14 (2.3)
	計	57 (57.0)	46 (41.1)	44 (37.6)	35 (35.4)	18 (22.2)	44 (47.3)	244 (40.5)
異常なし		43 (43.0)	66 (58.9)	73 (62.4)	64 (64.6)	63 (77.8)	49 (52.7)	358 (59.5)
合計		100	112	117	99	81	93	602

○胸部 X 線検査有所見者 3名

○平成 25 年度 看護学科

内科・耳鼻咽喉科・眼科健診受診率

対象者数は休学者を除く

		1 年	2 年	3 年	4 年	計
男子	対象者数	3	9	10	8	30
	受診者数	3	9	10	7	29
	受診率	100.0	100.0	100.0	98.1	96.7
女子	対象者数	61	54	55	63	233
	受診者数	60	54	55	63	232
	受診率	98.4	100.0	100.0	100.0	99.6
計	対象者数	64	63	65	71	263
	受診者数	63	63	65	70	261
	受診率	98.4	100.0	100.0	98.6	99.2

胸部 X 線検査受診率

対象者数は休学者を除く

		1 年	2 年	3 年	4 年	計
男子	対象者数	3		10	8	21
	受診者数	3		10	8	21
	受診率	100.0		100.0	100.0	100.0
女子	対象者数	61		55	63	179
	受診者数	61		55	60	176
	受診率	100.0		100.0	95.2	98.3
計	対象者数	64		65	71	200
	受診者数	64		65	68	197
	受診率	100.0		100.0	95.8	98.5

健診結果の判定区分

		1 年	2 年	3 年	4 年	計
有所見者	要治療	0	0	0	0	0
	要精密検査	6 (9.5)	2 (3.2)	3 (4.6)	3 (4.3)	14 (5.4)
	要継続医療	0	0	2 (3.1)	3 (4.3)	5 (1.9)
	要経過観察	23 (36.5)	19 (30.2)	19 (29.2)	21 (30.0)	82 (31.4)
	措置を要せず	8 (12.7)	0	1 (1.5)	5 (7.1)	14 (5.4)
	計	37 (58.7)	21 (33.3)	25 (38.5)	32 (45.7)	115 (44.1)
異常なし		26 (41.3)	42 (66.7)	40 (61.5)	38 (54.3)	146 (55.9)
合計		63	63	65	70	261

○胸部 X 線検査有所見者 なし

## ②大学院生定期健康診断

○平成 24 年度 大学院生・昼間コース

受診率

対象者数は休学者を除く

	内 科 等	胸部X線直接撮影	血液検査
対象者数 (人)	42	42	42
受診者数 (人)	28	28	33
受診率 (%)	66.7	66.7	78.6

判定区分

人 (%)

	異常なし	有 所 見 者					合計
		措置を要せず	要経過観察	要精密検査	要継続医療	計	
内 科 等	9 (32.1)	0	11 (39.3)	7 (25.0)	1 (3.6)	19 (67.9)	28
胸部X線	28 (100.0)	0	0	0	0	0	28
血液検査	23 (69.7)	0	5 (15.2)	5 (15.2)	0	10 (30.3)	33

HB s・HCV検査関係

検査項目	受診者数 (人)	陽性者数 (人)	陽性者率 (%)
HB s 抗原検査	27	2	7.4
HB s 抗体検査	27	18	66.7
HCV 抗体検査	27	1	3.7

○平成 24 年度 大学院生・昼夜開講履修コース

受診率

対象者数は休学者を除く

	内 科 等	胸部X線直接撮影	血液検査
対象者数 (人)	159	159	159
受診者数 (人)	12	11	14
受診率 (%)	7.5	6.9	8.8

判定区分

人 (%)

	異常なし	有 所 見 者					合計
		措置を要せず	要経過観察	要精密検査	要継続医療	計	
内 科 等	7 (58.3)	0	2 (16.7)	3 (25.0)	0	5 (41.7)	12
胸部X線	10 (90.9)	0	0	1 (9.1)	0	1 (9.1)	11
血液検査	9 (64.3)	0	2 (14.3)	3 (21.4)	0	5 (35.7)	14

HB s・HCV検査関係

検査項目	受診者数 (人)	陽性者数 (人)	陽性者率 (%)
HB s 抗原検査	13	1	7.7
HB s 抗体検査	13	6	46.2
HCV 抗体検査	13	0	0

○平成 25 年度 大学院生・昼間コース

受診率

対象者数は休学者を除く

	内 科 等	胸部X線直接撮影	血液検査
対象者数 (人)	42	42	42
受診者数 (人)	29	30	28
受診率 (%)	69.0	71.4	66.7

判定区分

人 (%)

	異常なし	有 所 見 者					合計
		措置を要せず	要経過観察	要精密検査	要継続医療	計	
内 科 等	14 (48.3)	2 (6.9)	11 (37.9)	2 (6.9)	0	15 (51.7)	29
胸部X線	30 (100.0)	0	0	0	0	0	30
血液検査	8 (28.6)	6 (21.4)	8 (28.6)	6 (21.4)	0	20 (71.4)	28

HB s・HCV検査関係

検査項目	受診者数 (人)	陽性者数 (人)	陽性者率 (%)
HB s 抗原検査	23	1	4.3
HB s 抗体検査	23	15	65.2
HCV 抗体検査	23	1	4.3

○平成 25 年度 大学院生・昼夜開講履修コース

受診率

対象者数は休学者を除く

	内 科 等	胸部X線直接撮影	血液検査
対象者数 (人)	157	157	157
受診者数 (人)	12	10	14
受診率 (%)	7.6	6.4	8.9

判定区分

人 (%)

	異常なし	有 所 見 者					合計
		措置を要せず	要経過観察	要精密検査	要継続医療	計	
内 科 等	5 (41.7)	0	3 (25.0)	4 (33.3)	0	7 (58.3)	12
胸部X線	10 (100.0)	0	0	0	0	0	10
血液検査	8 (57.1)	2 (14.3)	3 (21.4)	1 (7.1)	0	6 (42.9)	14

HB s・HCV検査関係

検査項目	受診者数 (人)	陽性者数 (人)	陽性者率 (%)
HB s 抗原検査	13	0	0
HB s 抗体検査	13	4	30.8
HCV 抗体検査	13	0	0

## 2. 医学部学生の感染症対策

### ①感染症抗体検査

#### 医学部学生の感染症予防対策について

本学における医学部の学生については、各種感染症に関してハイリスクグループとされている。病院内等で配慮すべき感染症であるインフルエンザ、麻疹、風疹、ムンプス、水痘、B型肝炎等については、ワクチン接種によって予防可能な感染症であるため、医療従事者をはじめ、実習生、研修生等はウイルス抗体価検査を行うとともに、率先してワクチン接種を実施することが推奨されている。

医学科の臨床実習および看護学科の臨地実習開始前に、4種感染症（麻疹、風疹、ムンプス、水痘・帯状ヘルペス）の抗体検査、B型・C型肝炎抗体検査等を行い、順次ワクチン接種を実施していた。ただし、4種感染症の抗体検査については、医学科と看護学科で実施方法が異なっていたため、平成19年度より実施方法や検査機関について統一を図った。学生委員会、医学科長、看護学科長、学務課との連携を基本に、保健管理センターが医学科および看護学科の両学科における抗体検査について、計画から結果返しまでのマネジメントを統一的に担う事となった。保健管理センターにおいて採血を行い、抗体価測定については(財)ヘルスサイエンスセンター島根に依頼した。

計画および実施の手順は、次のとおりである。

- ①学生に対して、検査の意義について周知徹底を図る。（保健管理センターのしおり、学生便覧）
- ②学生は、入学手続き時に費用納入をおこなう。
- ③学生は、検査の当日に申込み書（同意書として）を提出する。
- ④保健管理センターにおいて採血し、(財)ヘルスサイエンスセンター島根へ検体を送る。
- ⑤保健管理センターが抗体検査の結果通知を受け取り、学生に対して抗体検査結果返しをおこなう。
- ⑥麻疹、風疹、ムンプス、水痘・帯状ヘルペスの抗体価陰性および弱陽性者に対して予防接種を勧奨し、医療機関宛ての紹介状を発行する。
- ⑦B型肝炎ワクチン接種については、保健管理センターにおいて該当者一人に対して計3回接種をおこなう。

各学年においては、他にインフルエンザワクチン接種を実施している。各種ワクチン接種の間隔について無用な混乱を避けるため、結果返しの際に学生全員にワクチン接種時期の予定を説明する。

**検査項目** AST、ALT、 $\gamma$ -GTP、HBs抗原・HBs抗体、HCV抗体  
風疹、麻疹、ムンプス、水痘・帯状ヘルペスの各抗体価

- 風疹、麻疹、ムンプス、水痘・帯状ヘルペスの各抗体検査の結果、「陰性(-)」「弱陽性(±)」と判定された学生に、該当項目のワクチン接種を受けることを推奨する。
- HBs抗原(-)およびHBs抗体(-)と判定された学生に、B型肝炎ワクチン接種(計3回)を受けることを推奨する。

○平成 24 年度 4 種感染症抗体検査、B 型・C 型肝炎抗体検査、肝機能検査

医学科 1 年

項 目	受検者数 (人)	陰性. 弱陽性者数	陰性. 弱陽性者率
風疹ウイルス (HI)	102	9	8.8
麻疹ウイルス IgG (EIA)	102	4	3.9
ムンプスウイルス IgG (EIA)	102	36	35.3
水痘・帯状ヘルペスウイルス IgG (EIA)	102	8	7.8
項 目	受検者数 (人)	陽性者数(人)	陽性者率 (%)
HB s 抗原	102	0	0
HB s 抗体	102	6	5.9
HCV 抗体	102	0	0

医学科 3 年次編入生

項 目	受検者数 (人)	陰性. 弱陽性者数	陰性. 弱陽性者率
風疹ウイルス (HI)	10	0	0
麻疹ウイルス IgG (EIA)	10	1	10.0
ムンプスウイルス IgG (EIA)	10	4	40.0
水痘・帯状ヘルペスウイルス IgG (EIA)	10	1	10.0
項 目	受検者数 (人)	陽性者数(人)	陽性者率 (%)
HB s 抗原	10	0	0
HB s 抗体	10	3	30.0
HCV 抗体	10	0	0

看護学科 1 年

項 目	受検者数 (人)	陰性. 弱陽性者数	陰性. 弱陽性者率
風疹ウイルス (HI)	64	0	0
麻疹ウイルス IgG (EIA)	64	1	1.6
ムンプスウイルス IgG (EIA)	64	17	26.6
水痘・帯状ヘルペスウイルス IgG (EIA)	64	3	4.7
項 目	受検者数 (人)	陽性者数(人)	陽性者率 (%)
HB s 抗原	64	0	0
HB s 抗体	64	1	1.6
HCV 抗体	64	0	0

看護学科 3 年次編入生

項 目	受検者数 (人)	陰性. 弱陽性者数	陰性. 弱陽性者率
風疹ウイルス (HI)	10	0	0
麻疹ウイルス IgG (EIA)	10	0	0
ムンプスウイルス IgG (EIA)	10	2	20.0
水痘・帯状ヘルペスウイルス IgG (EIA)	10	1	10.0
項 目	受検者数 (人)	陽性者数(人)	陽性者率 (%)
HB s 抗原	10	0	0
HB s 抗体	10	2	20.0
HCV 抗体	10	0	0

○平成 25 年度 4 種感染症抗体検査、B 型・C 型肝炎抗体検査、肝機能検査

医学科 1 年

項 目	受検者数 (人)	陰性. 弱陽性者数	陰性. 弱陽性者率
風疹ウイルス IgG (EIA)	102	11	10.8
麻疹ウイルス IgG (EIA)	102	5	4.9
ムンプスウイルス IgG (EIA)	102	37	36.3
水痘・帯状ヘルペスウイルス IgG (EIA)	102	6	5.9
項 目	受検者数 (人)	陽性者数(人)	陽性者率 (%)
HB s 抗原	102	0	0
HB s 抗体	102	6	5.9
HCV 抗体	102	2(低力価)	2.0

医学科 3 年次編入生

項 目	受検者数 (人)	陰性. 弱陽性者数	陰性. 弱陽性者率
風疹ウイルス IgG (EIA)	10	1	10.0
麻疹ウイルス IgG (EIA)	10	0	0
ムンプスウイルス IgG (EIA)	10	2	20.0
水痘・帯状ヘルペスウイルス IgG (EIA)	10	0	0
項 目	受検者数 (人)	陽性者数(人)	陽性者率 (%)
HB s 抗原	10	0	0
HB s 抗体	10	3	30.0
HCV 抗体	10	0	0

看護学科 1 年

項 目	受検者数 (人)	陰性. 弱陽性者数	陰性. 弱陽性者率
風疹ウイルス IgG (EIA)	64	4	6.3
麻疹ウイルス IgG (EIA)	64	2	3.1
ムンプスウイルス IgG (EIA)	64	18	28.1
水痘・帯状ヘルペスウイルス IgG (EIA)	64	5	7.8
項 目	受検者数 (人)	陽性者数(人)	陽性者率 (%)
HB s 抗原	64	0	0
HB s 抗体	64	2	3.1
HCV 抗体	64	0	0

看護学科 3 年次編入生

項 目	受検者数 (人)	陰性. 弱陽性者数	陰性. 弱陽性者率
風疹ウイルス IgG (EIA)	4	0	0
麻疹ウイルス IgG (EIA)	4	0	0
ムンプスウイルス IgG (EIA)	4	1	25.0
水痘・帯状ヘルペスウイルス IgG (EIA)	4	0	0
項 目	受検者数 (人)	陽性者数(人)	陽性者率 (%)
HB s 抗原	4	0	0
HB s 抗体	4	1	25.0
HCV 抗体	4	0	0

## 感染症予防について

医学部では、医学科の臨床実習および看護学科の臨地実習に入る前に4種感染症（麻疹、風疹、ムンプス、水痘・帯状ヘルペス）の抗体検査とB型・C型肝炎の抗体等に関する血液検査を行います。

その結果、抗体を保有していない場合は、実習が開始するまでに該当のワクチン接種を実施する必要があります。なお、C型肝炎の予防ワクチンはありません。

- 検査を受ける対象学年は・・・医学科1年、 医学科3年次編入生  
看護学科1年、看護学科3年次編入生 の皆さんです。

☆ 4種感染症は・・・成人になってからかかると、重症化する場合があります。

### 麻疹（はしか）

発熱、咳、くしゃみ、鼻水などの症状で始まり、3～4日後に発疹が出る。

### 風疹（三日はしか）

熱が出て同時に発疹が出る。熱は軽く発疹も3～4日で消失する。

### ムンプス（流行性耳下腺炎・・・おたふくかぜ）

熱が出て、しばらくして両側の耳の下が痛くなり腫れてくる。

### 水痘（水ぼうそう）

熱が出て発疹が出る。間もなく水疱になり、さらに痂皮をつくって治る。

☆B型肝炎

B型肝炎ウイルスの感染によって起こる肝臓の病気です。

☆C型肝炎

C型肝炎ウイルスの感染によって起こる肝臓の病気です。

### 【 検査をすすめる理由 】

臨床実習および臨地実習では、様々な感染症の患者さんと直接あるいは間接的に接触する機会があります。自分自身の安全を守る（患者さんから感染しない）ことや他の患者さんの安全を守る（学生が感染源にならない）ために、検査および該当のワクチン接種を行います。

- 各種抗体検査および該当のワクチン接種を受けていないと、臨床実習および臨地実習、病院見学、就職用の健康診断書等の発行ができませんので注意してください。

- 「保健管理センターのしおり」より抜粋-

## ②B型肝炎ワクチン接種の実施

○医学科の臨床実習および看護学科の臨地実習が開始する前に、肝機能検査およびB型・C型肝炎の抗体検査を実施する。

○HBs抗原(-)およびHBs抗体(-)の場合は、B型肝炎ワクチン接種を行う。

1名の学生に対して計3回ワクチンを接種する。

対象者数

(人)

	医学科 1年	医学科 2年	医学科 3年次編入生	看護学科 1年	看護学科 3年次編入生	計
平成24年度	94	1	8	62	8	173
平成25年度	93	1	7	60	3	164

## ③インフルエンザワクチン接種の実施

平成11年度より、国家試験受験対策として医学科6年の希望者を対象にインフルエンザワクチン接種を開始した。現在は、臨床実習および臨地実習の学年も対象としている。毎年11～12月にかけてインフルエンザワクチンを1回接種している。

○医学科6年および看護学科4年希望者・・・国家試験受験の感染症予防対策

○医学科5年および看護学科3年希望者・・・臨床および臨地実習の感染症予防対策

接種者数

(人)

	医学科 5年	医学科 6年	看護学科 3年	看護学科 4年	計
平成24年度	68	79	61	63	271
平成25年度	76	87	55	69	287

### 3. 外国人研究留学生・外国人研究者健康診断

○平成 24 年度

検査項目別受診率

	内科診察	尿検査	胸部X線検査	血液検査
対象者数 (人)	5	5	5	5
受診者数 (人)	5	5	5	5
受診率 (%)	100.0	100.0	100.0	100.0

HBs・HCV 検査関係一覧

	HB s 抗原	HB s 抗体	HCV 抗体
受検者数 (人)	5	5	5
陽性者数 (人)	1	3	0
陽性者率 (%)	20.0	60.0	0

総合判定

	異常なし	要経過観察	要継続医療	要精密検査	要治療	計
人数	2	3	0	0	0	5
%	40.0	60.0	0	0	0	100.0

○平成 25 年度

検査項目別受診率

	内科診察	尿検査	胸部X線検査	血液検査
対象者数 (人)	13	13	13	11
受診者数 (人)	13	13	13	11
受診率 (%)	100.0	100.0	100.0	100.0

HBs・HCV 検査関係一覧

	HB s 抗原	HB s 抗体	HCV 抗体
受検者数 (人)	11	11	11
陽性者数 (人)	0	8	0
陽性者率 (%)	0	72.7	0

総合判定

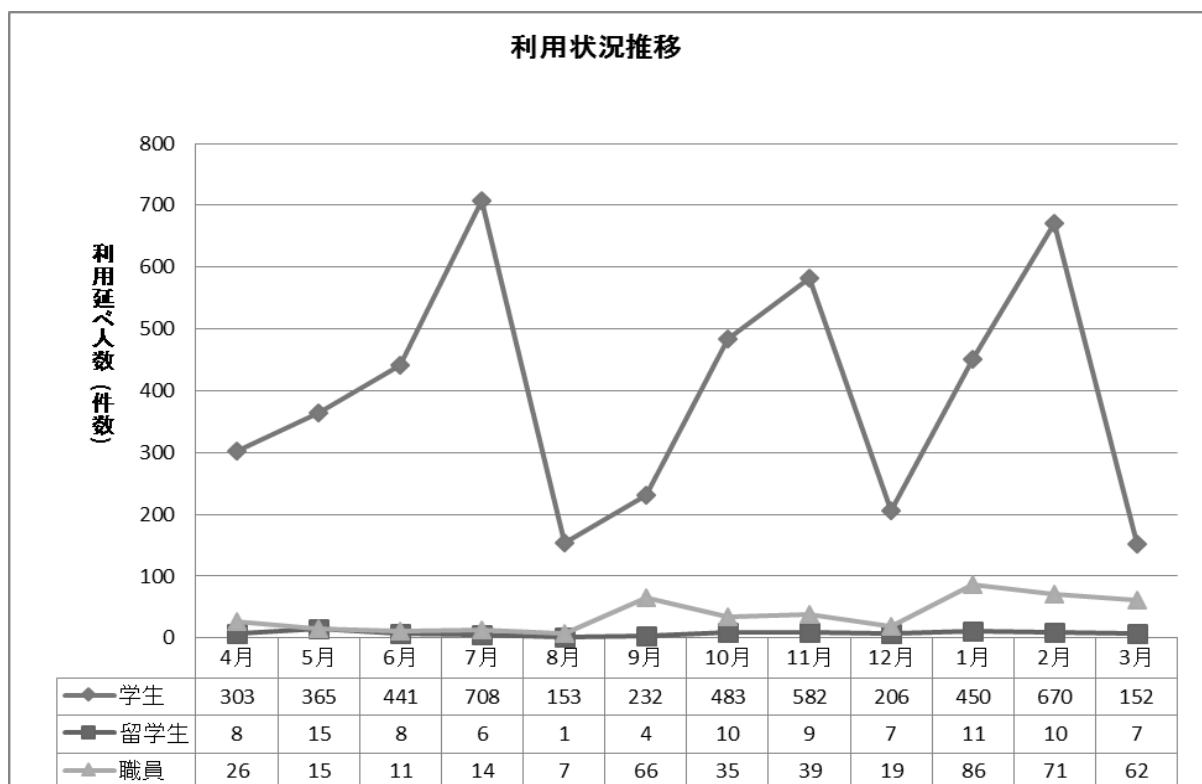
	異常なし	要経過観察	要継続医療	要精密検査	要治療	計
人数	5	5	0	3	0	13
%	38.5	38.5	0	23.0	0	100.0

区分	学生												外国人留学生												職員																		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月							
健康診断																			3		2																						
健康診断 再検査 事後措置	1	55	86	38	33	10	18	7	3																																		
検査等	身体測定	110	114	108	95	40	94	111	96	67	70	57	44												2			1															
	視力測定	3	1	15	35	6	1	1	1		6	2	1												1																		
	聴力検査			3	18	3		1	1		1														1																		
	尿検査			6	1				1			1													1						1												
	血圧測定	15	12	18	9	4	5	3	12	1	3	8	3												1	4	4				1	1				1	1						
	心電図検査			2	3	1			1		1	1													1																		
	その他	1	2	1	2	4		1	1		2	2													2								1										
身体面の健康相談	30	45	54	31	13	27	24	57	31	57	37	17	1	3	3	2		1	1	1	1	1	4	1		2		1		2	1	1		1									
健康診断書	(就職用)	5		15	56	4		1	1		15	3	1												1																		
	(実習用)				58																																						
	(免許申請)																																										
	(その他)	6	2	3	2	1	3	1	6	3	10	223	4														1											1	1				
精神面の健康相談 及びカウンセリング	33	35	25	33	17	35	39	41	27	55	47	37												13	8	3	10	3	38	16	11	12	82	64	40								
休養室の利用	4	4	10	10	1	4	9	2	10	8	4																																
応急処置等	87	82	77	88	16	46	83	75	54	44	49	16	6	10	1	2	1	2	5	7	4	9	3	6	3		3	2	4	3	4	7	7	1	4	2							
専門医紹介	6	8	11	6	3	7	3	10	5	5	2	3	1	2	4	2		1	1	1		1	3		1				1					1	1								
抗体検査							185		1																																		
B型肝炎ワクチン接種				166						172	154	20																		20	12										18		
インフルエンザ ワクチン接種								268	3																							20											
小児ワクチン紹介 状			2						1	1	75	1																															
テーピング講習会				51																																							
救急箱貸出し	2	5	5	6	7		3	2			5	5																															
合計(延べ人数)	303	365	441	708	153	232	483	582	206	450	670	152	8	15	8	6	1	4	10	9	7	11	10	7	26	15	11	14	7	66	35	39	19	86	71	62							

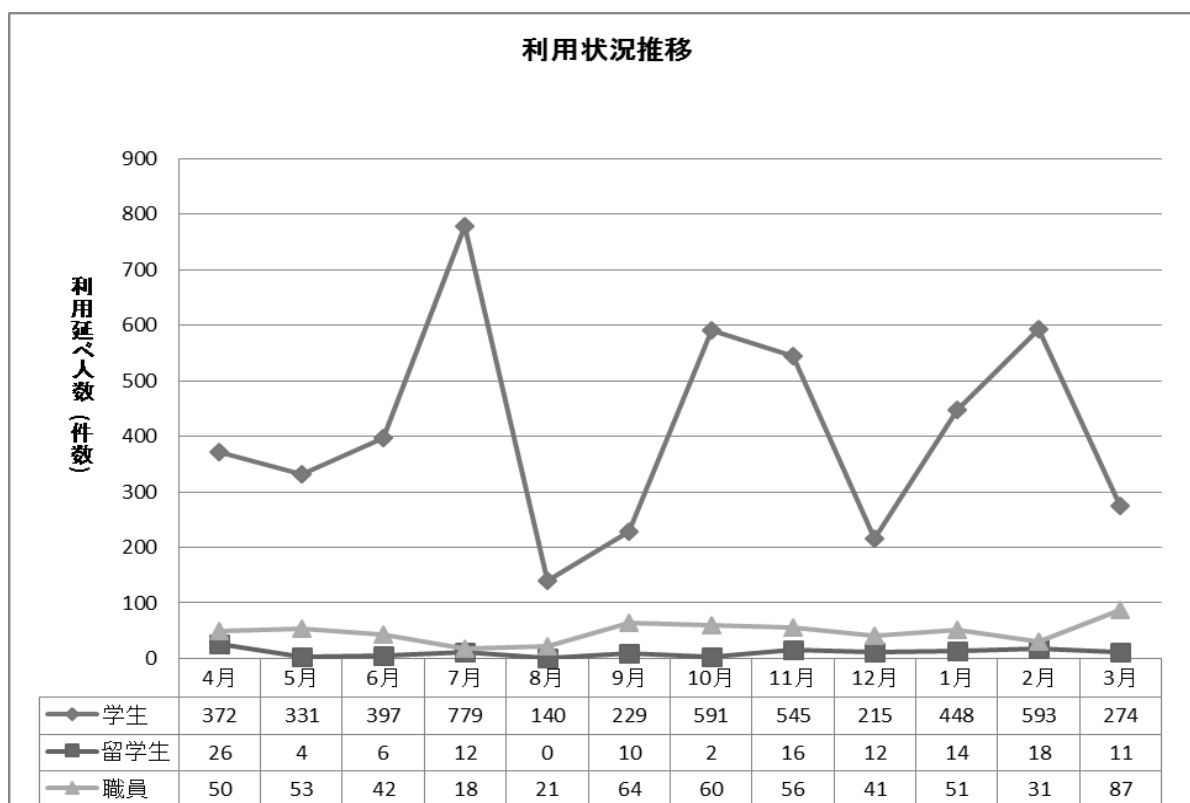
区分	学生												外国人留学生												職員												
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
健康診断																				6	3	2	1	1													
健康診断 再検査 健康診断 事後措置		18	84	81	7	22	13	9	4																												
検査等	身体測定	105	113	108	93	41	97	101	72	66	64	55	44																								
	視力測定		1	12	42	4	3	31		2	3	3	7																								
	聴力検査			4	19					2	1		2													1											
	尿検査		3	2	3	1				1		1	1																1	1		1					
	血圧測定	3	7	9	11	5	3	4	6	3	2	2	5													3	3	1	2		1	3	1	2		2	
	心電図検査			1	2	1				1	1		2																								
	その他		1	2	5	1	2	90	1	1	2		4																		1						
身体面の健康相談	75	51	45	46	12	24	25	45	27	67	39	21	7	1	2	5		3		1	2	6	4	2		2			2	2	1	1	1	2	2	1	
健康診断書	(就職用)		1	19	65	5	3	2	3	3	4	9	9																								
	(実習用)				62																																
	(免許申請)										228	1																									
	(その他)	35	6	1			5	5	13	5	10	5	6			1															1						
精神面の健康相談 及びカウンセリング	38	32	25	32	28	25	41	34	32	58	30	56						1						45	44	37	12	15	22	17	20	36	45	27	44		
休養室の利用	4	8	8	12	2		9	8	2	4	2													1	2	1	1	1		2	1					1	
応急処置等	99	78	68	81	23	37	82	69	49	59	45	29	12	2	3	3		4	2	8	6	3	9	7	4	1	1	4		1	3	6	2	2	2	1	
専門医紹介	10	6	6	7	1	6	3	5	7	2	3	3	7	1		4		2		1	1	3	4	1						1			1				
抗体検査							180																														
B型肝炎ワクチン接種				166	2	1				166	165	1																		37	34						38
インフルエンザ ワクチン接種								277	10																						24						
小児ワクチン紹介状	1	2			2	1				5		81																									
テーピング講習会				42																																	
救急箱貸出し	2	4	3	10	5		5	3			6	2																									
合計(延べ人数)	372	331	397	779	140	229	591	545	215	448	593	274	26	4	6	12	0	10	2	16	12	14	18	11	50	53	42	18	21	64	60	56	41	51	31	87	

## 島根大学保健管理センター出雲の利用状況推移（利用延べ件数）

平成 24 年度



平成 25 年度



②健康診断書の発行件数（再掲）

- 感染症罹患に伴う出席停止の診断書（インフルエンザ等）
- 奨学金申請手続きのための健康診断書（医学科、看護学科、留学生）
- 病院見学のための健康診断書（医学科、看護学科）
- 保育所実習のための健康診断書（看護学科）
- 医科研修医・マッチングのための健康診断書（医学科）
- 看護師、保健師、養護教諭採用試験受験のための健康診断書（看護学科）
- 雇入時健康診断書（医学科、看護学科、職員）
- 就職活動のための健康診断書（大学院生・・・医科学修士）
- 医師免許申請用の診断書
- 保健師免許申請用の診断書
- 看護師免許申請用の診断書

発行延件数

	学生	外国人留学生	職員	計
平成 24 年度	423	0	4	427
平成 25 年度	505	1	1	507

③医療機関（専門医）紹介件数（再掲）

紹介延件数

	学生	外国人留学生	職員	計
平成 24 年度	69	16	4	89
平成 25 年度	59	24	2	85

## 5. メンタルヘルス対策

### ①こころの健康相談・カウンセリング・コンサルテーション

保健管理センター出雲は、心身両面についてサポートができるため、日頃から学生の出入りが多いことにも特徴がある。そのため、学生自身が困ったり悩んだりした時に自発的に訪れやすく、また、本人がなかなか足を運べない状況にあっても、友人や教職員の勧めによって来所する気になる学生もあり、学生同士や学生と教職員という繋がりによって相談が円滑に進むことも少なからずある。さらに、センター内外でのコンサルテーションも、学生の不適応を最小限に留めるための大きな支えとなっている。

相談の内容は様々であり、元来の青年期特有のものから現代的な心理的課題に直面するもの、その他問題行動や症状や発達の課題など多様化している。

支援の内容に関しては、短期（1～数回）相談、継続相談（カウンセリング）ともにあるが、継続型カウンセリングが多い。継続型カウンセリングで語られる悩みは、心の発達や成長、アイデンティティの確立や自立に関わるテーマが多いため、相談期間が長期化しやすいが、悩みや課題を着実に克服して、大学生としての本分を全うする学生も多く見受けられる。（相談件数等については、別表参照）

### ②新入生心理検査

出雲キャンパスでは、平成20年度よりすべての新入生（1年生、3年次編入生）に対して、ACS（青年期危機尺度）という心理検査を実施しているが、入学時の心理検査実施については、次のような意味があると考えられる。

- 1.入学時の環境変化へのサポート
- 2.気になる学生、不適応傾向のある学生の早期発見
- 3.深刻化、重症化への早期予防（悩み過ぎ、うつ、引きこもり、希死念慮等の予防）
- 4.メンタルヘルスサービスやカウンセリングへのつなぎ機能

出雲キャンパスで行っているACS検査は、入学時ガイダンスのオリエンテーションで配布し、記入後は学生が保健管理センターに直接提出する形で回収している。検査結果は得点化し、高得点の学生と結果が聞きたいと希望した学生にカウンセラーが直接会って説明している。

#### 【別表】

こころの健康相談・カウンセリング利用状況（再掲）

	利用延件数			
	学 生	外国人留学生	職 員	計
平成 24 年度	424	0	300	724
平成 25 年度	431	1	364	796

### III 教職員の健康管理

#### 1. 教職員のセンター利用件数（再掲）

	メンタルヘルス	身体面の健康相談	応急処置	その他	延件数 計
平成 24 年度	300	8	40	103	451
平成 25 年度	364	14	27	169	574

#### 2. 産業医業務

月 1 回の安全衛生委員会への参加と職場巡視、有害物質を使用する作業環境測定結果に対する意見提示、職員定期健康診断事後措置、長時間労働判定、RI 従事者の健康判定、休職者に対する面談および職場復帰支援を行い、復職判定委員会に参加する。

（産業医 江副智子）

### IV 広報・啓発活動

1. 保健管理センターのしおり発行（新入生、保護者、学内等に配布する）
2. 島根大学保健管理センター出雲のホームページによる情報提供
3. 健康教育

#### ○テーピング講習会

ねらい：本学学生の課外活動（体育系）時におけるスポーツ障害を予防するため、テーピングの理論と実技について啓発・教育を行う。

平成 5 年度より継続して実施している。

時 期：毎年 7 月（西日本医学生体育大会参加等に備える）

会 場：出雲キャンパス

講 師：京都大学アメリカンフットボール部 トレーナーOB

米田 勇太郎 氏

参加者数

(人)

	出雲キャンパスの学生	松江キャンパスの学生	計
平成 24 年度	44	7	51
平成 25 年度	42	0	42

## I：学術研究活動

### 1. 研究会主催

#### ○島根学生相談研究会

##### 平成24年度

- 第26回島根学生相談研究会 平成24年8月8日（松江キャンパス）  
事例検討 島根大学保健管理センター出雲 和田葉子
- 第27回島根学生相談研究会 平成25年3月11日（松江キャンパス）  
ワークショップ「自身のリソースを活用したブリーフセラピーの一技法」  
島根大学附属教育支援センター准教授 足立智昭

##### 平成25年度

- 第28回島根学生相談研究会 平成25年8月5日（出雲キャンパス）  
学生指導教官・関係者の連携体制の重要性  
島根大学医学部公衆衛生学講座特任准教授 井上 顕
- 第29回島根学生相談研究会 平成26年3月11日（松江キャンパス）  
学生相談について 島根大学教育学部学校教育課程准教授 高橋 悟

### 2. 学会・研究会参加

#### 平成24年度

- 4月 アルツハイマー病研究会（東京） 江副智子
- 5月 日本学生相談学会第30回大会（札幌） 河野美江 早瀬眞知子
- 5月 第108回日本精神神経学会（札幌） 荒川長巳
- 6月 第53回日本臨床細胞学会（千葉） 河野美江
- 6月 第51回島根県産業看護部会研修会（松江） 米原満子 長廻久美子
- 6月 島根県看護協会出雲支部保健師班会研修会（出雲） 米原満子
- 6月 第12回日本抗加齢医学会（横浜） 江副智子
- 7月 第28回全国学生相談研究会議エンカウンターグループ（由布院） 早瀬眞知子
- 8月 第42回中国・四国大学保健管理研究集会（高松） 江副智子 荒川長巳 座長  
河野美江 早瀬眞知子 柏紀子 長廻久美子 米原満子
- 8月 The 12<sup>th</sup> Asia-Oceania Congress of Sexology（松江） 河野美江
- 8月 第42回全国性教育研究会（松江） 河野美江
- 9月 第52回島根県産業看護部会研修会（松江） 米原満子 長廻久美子
- 9月 島根県看護協会出雲支部保健師班会研修会（出雲） 米原満子
- 10月 第50回全国大学保健管理研究集会（神戸） 竹永三男 江副智子
- 11月 第51回日本臨床細胞学会秋期大会（新潟） 河野美江
- 11月 平成24年度中国四国地区国立大学労働安全衛生協議会（岡山） 荒川長巳
- 12月 日本発達障害ネットワーク第8回年次大会（福島） 早瀬眞知子
- 12月 地域職業リハビリテーション推進フォーラム（松江） 早瀬眞知子
- 1月 第46回全国学生相談研究会議（谷川） 河野美江 早瀬眞知子
- 2月 第53回島根県産業看護部会研修会（松江） 米原満子
- 2月 日本心理臨床学会地区研修会（鹿児島） 河野美江

- 3月 第15回島根県母性衛生学会（出雲） 河野美江  
 3月 第14回日本サイコセラピー学会（東京） 江副智子  
 3月 第37回中国四国精神保健・学生相談研究会（広島） 河野美江 早瀬眞知子

### 平成25年度

- 4月 Prolonged Exposure Therapy for Chronic PTSD（東京） 河野美江  
 5月 第109回日本精神神経学会（福岡） 荒川長巳 江副智子  
 5月 日本学生相談学会第31回大会（琉球） 河野美江 早瀬眞知子 座長  
 6月 第13回日本抗加齢医学会（横浜） 江副智子  
 6月 第54回島根県産業看護部会研修会（松江） 米原満子 長廻久美子  
 6月 島根県看護協会出雲支部保健師班会研修会（出雲） 米原満子  
 7月 第10回日本うつ病学会（北九州） 江副智子  
 7月 第29回全国学生相談研究会議エンカウンターグループ（日光）  
 河野美江 早瀬眞知子  
 8月 第43回中国・四国大学保健管理研究集会（山口） 江副智子 荒川長巳 座長  
 竹永三男 河野美江 早瀬眞知子 米原満子 柏紀子 長廻久美子 石倉陽子  
 11月 第51回全国大学保健管理研究集会（岐阜） 竹永三男 江副智子 河野美江  
 11月 労働安全衛生協議会（松江） 江副智子  
 11月 第2回日本産業看護学会学術集会（大阪） 米原満子  
 1月 第47回全国学生相談研究会議（おごと） 河野美江 早瀬眞知子  
 2月 第56回島根県産業看護部会研修会（松江） 米原満子 長廻久美子  
 3月 第38回中国四国精神保健・学生相談研究会（山口） 河野美江 早瀬眞知子

### 3. 学会・研究会発表

#### 平成24年度

- 5月 学生相談学会第30回大会（北海道）  
 ・「統合失調症の学生に対する支援について」  
 ○河野美江 早瀬眞知子  
 7月 第60回山陰精神神経学会（米子）  
 ・「不眠治療に対するラメルテオン併用による治療効果とベンゾジアゼピン系睡眠薬減量の可能性についての検討」  
 ○古屋智英 宮岡剛 和氣玲 長濱道治 河野公範 山下智子 家田麻紗  
 江副智子 堀口淳  
 8月 The 12<sup>th</sup> Asia-Oceania Congress of Sexology（松江）  
 ・「A sustained sex educational program aimed at improving participation rates in Pap smear test for 20s.」  
 ○Yoshie Kono  
 ・「Educational activities aimed at women-specific cancer prevention conducted by college students.」  
 ○Mayu Okamoto, Kozue Koreeda, Akiko Yata, Miho Arata, Akari Notsu, Chiharu Hironaka, Yoko Kono, Shizuko Koumi, Yukiko Koike, Fumiko Hirano, Yoshie Kono

- 8月 第42回中国・四国大学保健管理研究集会(高松)
- ・「島根大学事務系職員を対象としたストレス反応とチームの健康度調査」  
○荒川長巳
  - ・「女子大生の子宮頸がん検診受診率向上を目的とした継続的性教育プログラム」  
○河野美江 長廻久美子 荒川長巳
  - ・「島根大学松江キャンパスにおける母性保健相談の取り組み」  
○長廻久美子 柏紀子 河野美江 荒川長巳 早瀬眞知子 竹永三男
- 10月 第34回日本生物学的精神医学会(神戸)
- ・「唾液アミラーゼ・心拍変動を用いた統合失調症における自律神経機能の評価」  
○家田麻紗 宮岡剛 和氣玲 古屋智英 Kristian Liaury 土江景子、  
福島美千代 石原琴美 荒木智子 江副智子 稲垣卓司 堀口淳
- 11月 第51回日本臨床細胞学会秋期大会(新潟)
- ・「島根の細胞検査士がおこなう子宮頸がん検診受診啓発活動」  
○小海志津子 松浦幸浩 河野美江 岩成治
  - ・「20代女性に対する携帯メルマガによる子宮頸がん検診受診勧奨プログラム」  
○河野美江 小海志津子 岩成治
- 2月 The 3<sup>rd</sup> Asian Congress on Schizophrenia (Bali)
- ・「Yokukansan promote hippocampal neurogenesis through the inhibition of microglial activation in rodents with hyperbilirubinemia: a neuroinflammatory animal model of schizophrenia.」  
○Furuya, M, Miyaoka, T, Tsumori, T, Hashioka, S, Wake, R, Liaury, K,  
Ieda, M, Ishihara, K, Tsuchie, K, Fukushima, M, Araki, T, Ezoe, S and  
Horiguchi, J

## 平成25年度

- 5月 日本学生相談学会第31回大会(琉球)
- ・「性別違和感のある学生との面接」  
○河野美江
  - ・「発達障がいのある学生のグループ」  
○早瀬眞知子 河野美江
- 7月 第45回医学教育学会(千葉)
- ・「島根大学医学部学生相談室カウンセラーが指導学生制度に果たす役割」  
○津森登志子、山下由利子、江副智子
- 8月 第43回中国・四国大学保健管理研究集会(山口)
- ・「教員の復職支援について」  
○荒川長巳
  - ・「医学部学生の携帯電話依存に関連する要因」  
○江副智子、戸田雅裕、米原満子
  - ・「新入生全員面接とメンタルヘルス不調者に対するフォローアップ〜3年間のまとめ」  
○河野美江 荒川長巳 早瀬眞知子 小林亮輔 執行三佳 長廻久美子 柏紀子  
竹永三男
  - ・「入学時心理アセスメントの効用—心理相談への繋がり—」  
○米原満子、和田葉子、江副智子

- 11月 第51回全国大学保健管理研究集会（岐阜）
- ・「大学生が行う子宮頸がん予防啓発活動について」  
○河野美江 長廻久美子 柏紀子 荒川長巳 小海志津子 平野文子
- 1月 第18回日本産業ストレス学会（神戸）
- ・「看護師のストレス対処能力 (Sense of Coherence: SOC) とバーンアウトとの関係」  
○江副智子 米原満子
- 3月 第38回中国四国精神保健・学生相談研究会（山口）
- ・「性暴力被害の事例」  
○河野美江
  - ・視覚障がい者の支援（医療機関との連携）  
◎田中 桂子 ○早瀬 眞知子

#### 4. 著書

1. Rubin, R. T. and Carroll, B. J. (江副智子訳) : うつ病と躁うつ病. In: ストレス百科事典 (ストレス百科事典翻訳刊行委員会編). P172~P180, 丸善. 東京. 2013

#### 5. 学術論文

1. 江副智子 : ヘルスサービスリサーチ (22) 「IT社会における青少年のメンタルヘルスとヘルスサービスリサーチ」. 日本公衆衛生学雑誌 59: 352-355, 2012
2. Toda M, Ezoe, S: Multifactorial study of mobile phone dependence in medical students: Relationship to health-related lifestyle, Type A behavior, and depressive state. Open Journal of Preventive Medicine 3: 99-103, 2013
3. Ezoe, S, Toda M: Relationships of loneliness and mobile phone dependence with Internet addiction in Japanese medical students. Open Journal of Preventive Medicine 3: 407-412, 2013
4. Ieda, M, Miyaoka, T, Wake, R, Liaury K, Tsuchie, k, Fukushima, M, Araki,T, Ezoe,S, Inagaki T, Horiguchi, J: Evaluation of autonomic nervous system by salivary alpha-amylase level and heart rate variability in patients with schizophrenia. Eur Arch psychiatry Clin Neurosci (online), 2013
5. Furuya, M, Miyaoka, T, Wake R, Nagahama, M, Kawano, K, Yamashita, S, Ieda, M, Ezoe, S, Horiguchi, J: Possibility of early withdrawal of benzodiazepine hypnotics by combination with ramelteon for the treatment of insomnia: A pilot study. Sleep and Biological Rhythms, 11: 55-61, 2013.
6. Furuya, M, Miyaoka, T, Tsumori, T, Liaury, K, Hashioka, S, Wake, R, Tsuchie, K, Fukushima, M, Ezoe, S, Horiguchi, J: Yokukansan promotes hippocampal neurogenesis associated with the suppression of activated microglia in Gunn rat. Journal of Neuroinflammation 10: 145-153, 2013
7. 河野美江, 早瀬眞知子, 寺脇玲子 : 「気になる学生」調査をきっかけとした学生支援. 学生相談研究 34 (1) :23-35, 2013
8. 河野美江, 小海志津子, 岩成治 : 島根県の20代女性に対する携帯メールマガジンによる子宮頸がん受診勧奨プログラム. 日本臨床細胞学会雑誌 52 (6) :540-544,2013

## 6. 報告書

1. 荒川長巳：島根大学事務系職員を対象としたストレス反応とチームの健康度調査. 第42回中国四国大学保健管理研究集会報告書. 59～63, 2012
2. 河野美江：「気になる学生」への支援. 日本学生相談学会大学カウンセラー資格認定委員会報告書3. 35-38, 2012
3. 長廻久美子、柏紀子、河野美江、荒川長巳、早瀬眞知子、竹永三男：島根大学松江キャンパスにおける母性保健相談の取り組み. 第42回中国・四国大学保健管理研究集会報告書. 48-51, 2012
4. 河野美江、長廻久美子、荒川長巳：女子大生の子宮頸がん検診受診率向上を目的とした継続的性教育プログラム. 第42回中国・四国大学保健管理研究集会報告書. 55-58, 2012
5. 荒川長巳：教員の復職支援について. 第43回中国四国大学保健管理研究集会報告書, 85-88, 2013
6. 江副智子、戸田雅裕、米原満子：医学部学生の携帯電話依存に関連する要因. 第43回中国四国大学保健管理研究集会報告書, 2013年
7. 米原満子、和田葉子、江副智子：入学時心理アセスメントの効用—心理相談への繋がりに. 第43回中国四国大学保健管理研究集会報告書, 2013年
8. 河野美江、荒川長巳、小林亮輔、長廻久美子、執行三佳、早瀬眞知子、柏紀子、竹永三男：新入生全員面接とメンタルヘルス不調者に対するフォローアップ～3年間のまとめ～. 第43回中国・四国大学保健管理研究集会報告書. 92-94, 2013
9. 河野美江、長廻久美子、柏紀子、荒川長巳、小海志津子、平野文子：大学生が行う子宮頸がん予防啓発活動について. 第51回全国大学保健管理研究集会報告書. 214-216, 2014

## 7. 研究助成

### 河野美江

1. 平成24年4月～平成25年3月 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C) 「20代女性の子宮がん検診受診率向上を目的とした継続的性教育プログラムに関する研究」 (課題番号22500630、研究代表者 河野美江)
2. 平成24年度島根大学プロジェクト研究推進機構特定研究部門 「中山間地域における地域医療および生活・環境基盤再生のための地域マネジメント診断法の開発」 (リーダー 並河 徹)

## II 教育活動

### 江副智子

メンタルヘルス（医学部医学科・看護学科）  
精神看護学援助論（医学部看護学科）  
職場における心身の健康管理について（新任教員）  
健康管理について（新任研修医）  
医学概論（法文学部社会福祉コース，平成 25 年度～）

### 荒川長巳

健康・スポーツ科学概論Ⅰ（教育学部・生物資源科学部・総合理工学部・法文学部，平成 24 年度）  
健康・スポーツ（共通教養，平成 25 年度）  
医学概論（法文学部社会福祉コース）  
酒——一杯の酒から学問を覗く人と職業

### 河野美江

健康・スポーツ科学概論Ⅰ（教育学部・生物資源科学部・総合理工学部・法文学部，平成 24 年度）  
健康・スポーツ（共通教養，平成 25 年度）  
健康・スポーツ科学概論Ⅱ（共通教養）  
医学概論（法文学部社会福祉コース）  
臨床心理（医学部医学科・看護学科）  
ジェンダー（共通教養）

### 早瀬眞知子

健康・スポーツ科学概論Ⅱ（共通教養）

### 和田葉子

臨床心理（医学部）講義

（以上、学内に限る）

### Ⅲ 社会貢献・講演

#### 江副智子

日本サイコセラピー学会理事  
日本ストレス学会評議員  
全国大学保健管理協会評議員  
日本時間生物学会評議員

#### ○講演 平成 25 年度

- ・ 東京大学医学部公衆衛生学教室同窓会講演  
「IT 社会におけるテクノストレスの予防医学的研究—man-machine interface の変遷」

#### 荒川長巳

#### ○講演 平成 24 年度

- ・ 島根県立看護短期大学 「学生生活の危険」

#### 平成 25 年度

- ・ 島根県立看護短期大学 「学生生活の危険」
- ・ 中国四国地区国立大学労働安全衛生協議会 「大学職員のメンタルヘルス対策」

#### 河野美江

島根県健康相談アドバイザー  
松江市医師会学校保健部委員  
島根県母性衛生学会理事  
島根県社会福祉審議会委員  
島根県臨床心理士会理事 (H25～)

#### ○講演 平成 24 年度

- ・ 第 42 回全国性教育研究会 「学校・地域・医療をつなぐ性教育」
- ・ 全国リハビリテーション学校協会中国ブロック研修会「学生のメンタルヘルス入門」
- ・ 島根県隠岐栄養士会 「摂食障害患者への対応について」  
性教育講演会 中学校 10 校、高校 5 校、大学 2 校、教員 1 回、  
NPO 4 回、女性 2 回

#### 平成 25 年度

- ・ 松江市学校保健会 「学校・医療・地域をつなぐ性教育」
- ・ 島根県女性相談員研修会「性暴力被害者支援について」
- ・ 島根県医師会生涯教育講座「働く女性の母性健康管理について」
- ・ 思春期の性に関する健康問題ワーキング研修会 鳥取  
「性を通して育む 思春期の“からだ”と“こころ”～つながる学校・地域・医療～」  
性教育講演会 中学校14校、高校6校、教員3回、NPO 5回

**早瀬眞知子**

「いのちの電話」評議員

島根被害者サポートセンター 理事（～H24）

NPO 法人 大田子どもセンター 理事長

島根県発達障がい者雇用支援連絡協議会 委員

松江市地域密着型サービス運営委員会 委員（H25～）

- 講演 平成 24 年度 島根いのちの電話「カウンセリングについて」  
島根被害者サポートセンター新人研修 3 回 継続研修 9 回  
平成 25 年度 島根いのちの電話「カウンセリングについて」

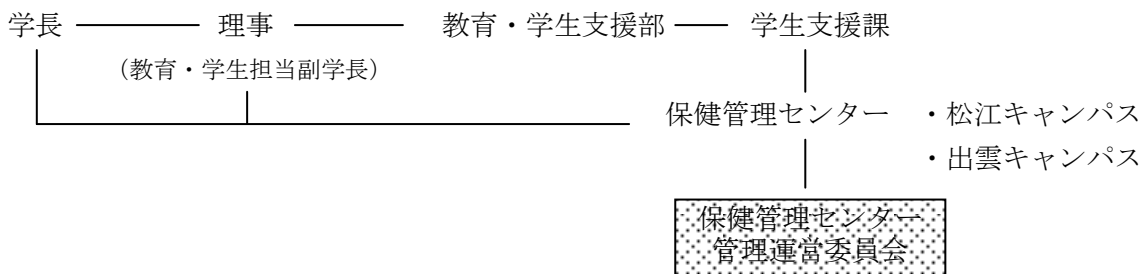
**和田葉子**

島根県臨床心理士会理事（H25～）

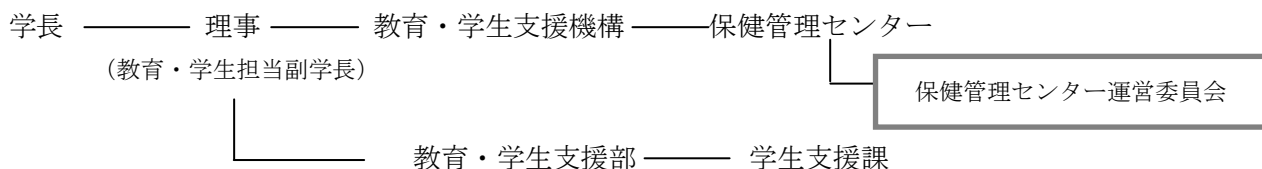
## IV 保健管理体制

### 1. 組織

平成 16 年度～平成 24 年度



平成 25 年度～



### 2. 構成

平成 24 年度

所長	竹永 三男	(兼任 法文学部教授)
副所長	江副 智子	
(松江) 教授	荒川 長巳	(出雲) 教授 江副 智子 (産業医)
	(精神科医師・産業医)	保健師 米原 満子
准教授	河野 美江	嘱託講師 和田 葉子 (臨床心理士)
	(産婦人科医師・臨床心理士)	事務担当 澄田 隆
特任講師	早瀬 眞知子 (臨床心理士)	(学務課課長補佐)
嘱託講師	小林 亮輔 (臨床心理士)	
嘱託講師	執行 三佳 (臨床心理士)	
保健師	長廻 久美子	
臨床検査技師	柏 紀子	
学校医	坂之上 一史 (内科医師)	
管理栄養士	石倉 陽子 (学生課支援課)	
事務担当	竹内 美佐子 (学生支援課長)	
	笠巻 慎司 (学生支援課係長)	
	寺脇 玲子 (学生支援課)	
	7月～ 長廻 徹 (学生支援課)	

## 平成 25 年度

所 長 竹永 三男 (兼任 法文学部教授)

副所長 江副 智子

(松江) 教 授 荒川 長巳 (出雲) 教 授 江副 智子 (産業医)  
(精神科医師・産業医) 保健師 米原 満子  
准教授 河野 美江 嘱託講師 和田 葉子 (臨床心理士)  
(産婦人科医師・臨床心理士) 事務担当 澄田 隆  
特任講師 早瀬 眞知子 (臨床心理士) (学務課)  
嘱託講師 小林 亮輔 (臨床心理士)  
嘱託講師 執行 三佳 (臨床心理士)  
保健師 長廻 久美子  
臨床検査技師 柏 紀子  
学校医 坂之上 一史 (内科医師)  
事務担当 竹内 美佐子 (学生支援課長)  
寺脇 玲子 (学生支援課専門職)  
石倉 陽子 (学生支援課)

### 3. 保健管理センター運営委員会 (平成 24 年度は管理運営委員会)

#### 平成 24 年度

委員長 保健管理センター所長 竹永 三男  
委員 教育・学生担当副学長 肥後 功一 保健管理センター副所長 江副 智子  
医学部附属病院長 井川 幹夫 医学部医学科内科学教授 山口 修  
法文学部 (評議員) 吹野 卓 医学部医学科精神神経科学教授 堀口淳  
教育学部 (評議員) 小川 巖 医学部医学科眼科学教授 大平 明弘  
総合理工学部 (評議員) 廣光 一郎 医学部医学科耳鼻咽喉科学教授 川内秀之  
生物資源科学部 (評議員) 板村 裕之 保健管理センター教授 荒川 長巳  
保健管理センター准教授 河野 美江

#### 平成 25 年度

委員長 保健管理センター長 竹永 三男  
委員 医学部教授 杉本 利嗣 保健管理センター副センター長 江副智子  
総合理工学研究科教授 廣光 一郎 保健管理センター教授 荒川 長巳  
教育学部教授 平井 章 保健管理センター准教授 河野 美江  
法文学部准教授 永松 正則 教育・学生支援部学生支援課長 竹内美佐子  
生物資源科学部助教 吉清 恵介 医学部学務課長 山根 茂雄

#### 4. 島根大学教育・学生支援機構保健管理センター規則

(平成25年島大規則第22号)

(平成25年3月14日制定)

(趣旨)

第1条 この規則は、島根大学教育・学生支援機構規則(平成25年島大規則第15号。以下「機構規則」という。)第4条第2項の規定に基づき、島根大学教育・学生支援機構保健管理センター(以下「センター」という。)の組織及び運営に関し、必要な事項を定めるものとする。

(目的)

第2条 センターは、島根大学(以下「本学」という。)における保健管理に関する専門的業務を一体的に行い、学生及び職員の健康の保持増進を図ることを目的とする。

(業務)

第3条 センターは、次の各号に掲げる業務を行う。

- 一 保健管理計画の企画及び立案
- 二 定期及び臨時の健康診断
- 三 健康診断の事後措置等健康の保持増進について必要な指導
- 四 健康相談及び精神保健に関する指導・助言
- 五 環境衛生及び感染症の予防に関する指導・助言
- 六 保健管理に関する調査研究
- 七 その他センターの目的を達成するために必要な業務

(施設の名称及び位置)

第4条 センターに、次の各号に掲げる施設を置き、それぞれ当該地区の保健管理に関し、前条に定める業務を分掌する。

- 一 島根大学保健管理センター松江 松江市西川津町1060
- 二 島根大学保健管理センター出雲 出雲市塩冶町89の1

(組織)

第5条 センターに、次の各号に掲げる職員を置く。

- 一 センター長
- 二 副センター長
- 三 機構規則第7条第1項の規定に基づき、センターに配置する専任教員
- 四 その他必要な職員

(センター長)

第6条 センター長の選考は、機構規則第8条第1項に規定する島根大学教育・学生支援機構管理委員会(以下「管理委員会」という。)の議を経て、島根大学教育・学生支援機構長の推薦に基づき、学長が行う。

2 センター長の任期は、2年とし、再任を妨げない。ただし、補欠のセンター長の任期は、前任者の残任期間とする。

3 センター長は、センターの業務を掌理する。

(副センター長)

第7条 副センター長の選考は、管理委員会の議を経て、島根大学教育・学生支援機構長の推薦に基づき、学長が行う。

2 副センター長の任期は、2年とし、再任を妨げない。ただし、補欠の副センター長

の任期は、前任者の残任期間とする。

3 副センター長は、センター長を補佐し、センターの業務を整理する。

(センター運営会議)

第8条 学部等との連携のもとに、センターの業務の円滑な実施を図るとともに、センターの運営に関する事項を審議するため、センター運営会議を置く。

2 センター運営会議は、次の各号に掲げる事項を審議する。

- 一 第3条に規定する業務に関すること。
- 二 専門委員会等の設置に関すること。
- 三 その他島根大学教育・学生支援機構長から付託されたこと。

3 センター運営会議は、次の各号に掲げる委員で組織する。

- 一 センター長
- 二 副センター長
- 三 各学部（総合理工学部を除く。）教員代表 各1名
- 四 総合理工学研究科教員代表 1名
- 五 機構規則第7条第1項の規定に基づき、センターに配置する専任教員
- 六 教育・学生支援部学生支援課長
- 七 医学部学務課長
- 八 その他センター長の申出に基づき、島根大学教育・学生支援機構長が必要と認めた者

4 前項第3号及び第4号の委員は、学部長及び研究科長の申出に基づき学長が任命する。

5 第3項第3号及び第4号の委員の任期は、2年とし、再任を妨げない。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

6 センター運営会議は、センター長が招集し、議長はセンター長をもって充てる。

7 議長に事故があるときは、副センター長がその職務を代理する。

8 センター運営会議が必要と認めたときは、センター運営会議に委員以外の者の出席を求め、その意見を聴くことができる。

(専門委員会等)

第9条 センターの専門的課題に対応するため、必要に応じて専門委員会等を置くことができる。

2 専門委員会等に関し必要な事項は、センター運営会議において定める。

(事務)

第10条 保健管理センター松江及びセンター運営会議の事務は、教育・学生支援部学生支援課において処理する。

2 保健管理センター出雲の事務は、医学部学務課において処理する。

(雑則)

第11条 この規則に定めるもののほか、センターに関し必要な事項は、別に定める。

附 則

1 この規則は、平成25年4月1日から施行する。

2 島根大学保健管理センター規則（平成16年島大規則第163号）は、廃止する。

3 学長は、第6条第1項の規定にかかわらず、この規則施行前に廃止前の島根大学保健管理センター規則に基づき所長として選考された者をセンター長として任命するものとする。

- 4 学長は、第7条第1項の規定にかかわらず、この規則施行の日において、この規則施行の日の前日に島根大学保健管理センター副所長であった者を副センター長として任命するものとする。

## 参考) 島根大学保健管理センター規則

(平成16年島大規則第163号)  
(平成16年4月1日制定)  
[平成17年2月2日一部改正]  
[平成18年3月22日一部改正]  
[平成18年12月19日一部改正]  
[平成24年3月19日一部改正]

(趣旨)

第1条 この規則は、島根大学保健管理センター（以下「保健管理センター」という。）の組織及び運営等に関し、必要な事項を定める。

(設置)

第2条 島根大学（以下「本学」という。）に、保健管理センターを置く。

(目的)

第3条 保健管理センターは、本学における保健管理に関する専門的業務を一体的に行い、学生及び職員の健康の保持増進を図ることを目的とする。

(業務)

第4条 保健管理センターは、次の各号に掲げる業務を行う。

- 一 保健管理計画の企画及び立案
- 二 定期及び臨時の健康診断
- 三 健康診断の事後措置等健康の保持増進について必要な指導
- 四 健康相談及び精神保健に関する指導・助言
- 五 環境衛生及び感染症の予防に関する指導・助言
- 六 保健管理に関する調査研究
- 七 その他保健管理について必要な専門的業務

(施設の名称及び位置)

第5条 保健管理センターに、次の各号に掲げる施設を置き、それぞれ当該地区の保健管理に関し、前条に定める業務を分掌する。

- 一 島根大学保健管理センター松江 松江市西川津町1060
- 二 島根大学保健管理センター出雲 出雲市塩冶町89の1

(職員)

第6条 保健管理センターに、次の各号に掲げる職員を置く。

- 一 所長
- 二 副所長
- 三 教授，准教授，講師，助教又は助手
- 四 技術職員

2 前項各号に掲げる者のほか、保健管理に関する専門的業務を担当する者を置くことができる。

(所長)

第7条 所長の選考は、本学の専任の教授のうちから、第10条に規定する島根大学保健管理センター管理運営委員会の発議に基づき、教育研究評議会の議を経て、学長が行う。

2 所長の任期は、2年とする。ただし、再任を妨げない。

3 所長は、保健管理センターの業務を掌理する。

(副所長)

第8条 副所長の選考は、本学の専任の教授のうちから、第10条に規定する島根大学保健管理センター管理運営委員会の推薦に基づき、学長が行う。

2 副所長の任期は、2年とする。ただし、再任を妨げない。

3 副所長は、所長を補佐し、保健管理センターの業務を整理する。

(所長、副所長及び教員の選考)

第9条 教員の選考は、次条に規定する島根大学保健管理センター管理運営委員会の発議に基づき、教育研究評議会の議を経て、学長が行う。

(管理運営委員会)

第10条 保健管理センターに、島根大学保健管理センター管理運営委員会（以下「管理運営委員会」という。）を置く。

2 管理運営委員会は、次の各号に掲げる事項を審議する。

一 保健管理の基本方針

二 組織運営に関する基本方針

三 所長、副所長及び教員の人事に関する事項

四 予算及び概算に関する事項

五 事業計画の策定及び実施

六 その他保健管理センターの管理運営に関する必要な事項

(管理運営委員会の組織)

第11条 管理運営委員会は、次の各号に掲げる委員で組織する。

一 学長が指名する副学長

二 医学部附属病院長

三 医学部以外の各学部（総合理工学部を除く。）から選出された評議員 各1名

三の二 総合理工学部から選出された評議員 1名

四 医学部医学科内科学教授 1名

五 医学部医学科精神医学教授 1名

六 医学部医学科眼科学教授 1名

七 医学部医学科耳鼻咽喉科学教授 1名

八 所長

九 副所長

十 保健管理センター専任の教員

2 前項第3号から第7号までの委員は、学部長及び研究科長の申出に基づき学長が任命する。

3 第1項第3号から第7号までの委員の任期は、2年とし、再任を妨げない。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

4 管理運営委員会に委員長を置き、委員長は、所長をもって充てる。

(管理運営委員会の会議)

第12条 管理運営委員会は、委員長が招集し、議長は、委員長をもって充てる。

- 2 委員長に事故があるときは、委員長の指名する委員がその職務を代理する。
- 3 管理運営委員会は、委員の過半数が出席しなければ会議を開くことができない。
- 4 管理運営委員会は、出席委員の過半数をもって議決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。
- 5 管理運営委員会が必要と認めるときは、委員以外の者の出席を求め、意見を聴くことができる。

(専門委員会等)

第13条 専門の事項を検討するため必要があるときは、管理運営委員会に、専門委員会等を置くことができる。

- 2 専門委員会等に関し必要な事項は、管理運営委員会において定める。

(事務)

第14条 保健管理センター松江及び管理運営委員会の事務は、教育・学生支援部学生支援課において処理する。

- 2 保健管理センター出雲の事務は、医学部学務課において処理する。

附 則

この規則は、平成16年4月1日から施行する。

附 則

この規則は、平成17年2月2日から施行する。

附 則

この規則は、平成18年4月1日から施行する。

附 則

この規則は、平成19年4月1日から施行する。

附 則

この規則は、平成24年4月1日から施行する。

## V. 沿革

### 1. 旧島根医科大学保健管理センター沿革

昭和 50 年 10 月 1 日	島根医科大学開学
昭和 52 年 4 月 1 日	保健管理室業務開始
平成 3 年 4 月 12 日	保健管理センター開設（保健管理室を廃止）
〃	初代所長 恒松徳五郎(内科学講座第三) 教授 就任（併任）
平成 3 年 7 月 1 日	保健婦 米原満子 着任
平成 4 年 3 月 16 日	講師 野原隆彦（第一外科より） 着任
平成 4 年 4 月 1 日	保健管理センター開所
平成 5 年 4 月 1 日	2代所長 加藤 讓（内科学講座第一） 教授 就任（併任）
平成 7 年 4 月 1 日	3代所長 福本四郎（内科学講座第二） 教授 就任（併任）
平成 8 年 9 月 16 日	4代所長 小林祥泰（内科学講座第三） 教授 就任（併任）
平成 10 年 9 月 16 日	5代所長 高島利一（内科学講座第四） 教授 就任（併任）
平成 12 年 9 月 16 日	6代所長 木下芳一（内科学講座第二） 教授 就任（併任）
平成 14 年 9 月 16 日	7代所長 加藤 讓（内科学講座第一） 教授 就任（併任）
平成 15 年 10 月 1 日	旧島根大学と島根医科大学が統合

### 2. 島根大学保健管理センター沿革

昭和 41 年	開学以来設置されていた学生健康相談所に代わり、昭和 41 年 6 月国立学校設置法施行規則第 29 条の 2 の規定に基づき学生の健康管理に関する専門的業務を行う厚生施設として、全国で 4 大学（東大、京大、長崎大、島根大）に設置された。
	初代所長（併） 福井一明助教授（教育学部） 就任
	井上照雄助教授（精神科） 着任
	看護師 徳永末子 着任 ～昭和 53 年 3 月
	非常勤講師 村江通之（衛生学）
	非常勤医師 石倉 幌（内科） ～昭和 60 年 3 月
	高橋富士郎（内科）
	青戸陽一（歯科） ～昭和 55 年 3 月
	茂木五郎（耳鼻科）
昭和 42 年 4 月	所長 井上照雄助教授 就任
	非常勤医師 西村 充（耳鼻科） ～昭和 55 年 3 月
昭和 47 年 12 月	本部管理棟へ移転
昭和 51 年 4 月	所長（併）小滝信夫教授（教育学部） 就任 ～昭和 52 年 3 月
	助教授 井上照雄 教授に昇任
	非常勤医師 中島隆司（整形外科）
昭和 52 年 4 月	所長（併）稲波正充教授（教育学部） 就任 ～昭和 57 年 3 月
昭和 53 年 4 月	看護師 三崎キクノ 着任 ～昭和 58 年 3 月

昭和 55 年	臨床検査技師 柏（永海）紀子 着任 非常勤医師 青戸泰吉（歯科） 永松 力（内科）	～平成 12 年 3 月
昭和 56 年	非常勤カウンセラー 落合 潮 着任 非常勤カウンセラー 大西俊江講師（教育学部）着任	～平成 5 年 3 月
昭和 58 年 4 月	所 長 井上照雄教授（精神科） 就任 講 師 藤永佳代子（小児科） 着任 看護師 坪倉（清水）千歳 着任	～平成 5 年 3 月 ～昭和 60 年 12 月
昭和 60 年 4 月	非常勤医師 池田 博（内科）	
昭和 61 年 1 月	講師 谷本浩一（消化器内科） 着任	～昭和 61 年 12 月
昭和 61 年 2 月	保健管理センター現在地に移転	
昭和 61 年 4 月	講師 船井哲夫（精神科） 着任	
平成 4 年 4 月	所長 喜多村 望教授（教育学部） 就任 講師 船井哲夫 助教授に昇任	～平成 7 年 3 月 ～平成 6 年 3 月
平成 5 年 4 月	助教授 荒川長巳（精神科） 着任 非常勤カウンセラー 斉藤 涉 着任	～平成 6 年 3 月
平成 6 年 4 月	助手 山本大介（精神科） 着任 非常勤カウンセラー 津森葉子 着任	～平成 9 年 3 月
平成 8 年 4 月	所長（併） 猪野郁子教授（教育学部） 就任	
平成 9 年 4 月	非常勤カウンセラー 足立富美子 着任	～平成 17 年 3 月
平成 14 年 4 月	非常勤カウンセラー 早瀬真知子 着任	
平成 15 年 4 月	助教授 荒川長巳 教授に昇任	
平成 15 年 9 月	講師 山本大介 助教授に昇任	～平成 19 年 4 月
平成 15 年 10 月	<b>旧島根大学・島根医科大学 統合</b>	
	所 長（併） 猪野郁子 教授（教育学部） 就任 副所長（併） 小林祥泰 教授（医学部） 就任 教授 荒川長巳（精神科） 助教授 山本大介（精神科） 講師 野原隆彦（外科） 看護師 坪倉千歳 保健師 米原満子 臨床検査技師 柏 紀子	～平成 17 年 3 月 ～平成 16 年 3 月
	非常勤医師 池田 博（内科） 非常勤カウンセラー 大西俊江 名誉教授 非常勤カウンセラー 足立富美子 非常勤カウンセラー 和田葉子	～平成 17 年 3 月 ～平成 17 年 3 月 ～平成 17 年 3 月
平成 16 年 4 月	<b>国立大学法人 島根大学となる</b>	
平成 17 年 4 月	所 長（併） 蘆田耕一 教授（法文学部） 就任 副所長（併） 杉本利嗣 教授（医学部） 就任 特任講師 早瀬真知子 着任 非常勤医師 坂之上 一史（内科医師） 講師 野原隆彦 助教授に昇任	～平成 23 年 3 月 ～平成 21 年 3 月

平成 19 年 4 月	助教授 野原隆彦 教授に昇任	
平成 20 年 1 月	講師 河野美江 (産婦人科) 着任	
平成 21 年 4 月	副所長 (兼) 野原隆彦 教授 就任	～平成 22 年 3 月
	保健師 長廻久美子 着任	
平成 21 年 5 月	嘱託講師 (カウンセラー) 小林亮輔 着任	
平成 22 年 4 月	教授 江副智子 (予防医学) 着任	
	副所長 (兼) 江副智子 教授 就任	
平成 22 年 4 月	講師 河野美江 准教授に昇任	
平成 23 年 4 月	所長 (兼) 竹永三男 教授 (法文学部) 就任	
平成 23 年 7 月	嘱託講師 (カウンセラー) 執行三佳 着任	

# 島根大学保健管理センター年報

[平成 24 年度～25 年度]

平成 27 年 3 月発行

島根大学保健管理センター

〒690-8504 島根県松江市西川津町 1060

TEL 0852-32-6568